

第七十九回 帝國議會 議院

民法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第八回

(一四三)

會議	
昭和十七年二月十日(火曜日)午前十時四十	六分開議
出席委員左ノ如シ	委員長
野村嘉六君	理事原惣兵衛君
理事松木弘君	理事鹽川正藏君
理事山本条吉君	池田清秋君
石坂繁君	木村作次郎君
高橋義次君	立川平君
内藤正剛君	服部英明君
古島義英君	一松定吉君
佐竹晴記君	北浦圭太郎君
原夫次郎君	同日十日委員菊地養之輔君及長井源君辭任
木内四郎君	ニ付其ノ補闕トシテ金井正夫君及長谷長次
大森洪太君	君ヲ議長ニ於テ選定セリ
千里君	出席政府委員左ノ如シ
坂野克君	同日十日委員菊地養之輔君及長井源君辭任
池田克君	ニ付其ノ補闕トシテ金井正夫君及長谷長次
齋藤直一君	君ヲ議長ニ於テ選定セリ
石田壽君	出席政府委員左ノ如シ

戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關ス
ル法律案(政府提出、貴族院送付)
戰時民事特別法案(政府提出、貴族院送付)
戰時刑事特別法案(政府提出、貴族院送付)
裁判所構成法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)

○原委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス、
大山法務局長ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマ
スノデ此ノ際之ヲ許シマス——速記ヲ中止
致シマス

(速記中止)

○原委員長代理 速記ヲ始メテ……ソレデ
ハ昨日ニ引續イテ質疑ノ通告決定順序ニ從
ヒマシテ質疑ヲ致シマス——高橋義次君

○高橋(義)委員 昨日以來司法官優遇ニ關
スル同僚委員ノソレトノ御發言ガアツタ
ノデアリマスガ、此ノ問題ニ特ニ轉換期日本
ノ司法ノ機能發揮ノ上カラ最モ重要視スベ
キ問題デアルト考ヘラレルノデアリマス、
此ノ問題ニ關シマシテハ申スマデモナク大
藏省ト最モ密接ナル關係ヲ有スルノデアリ
マシテ、主計局長ニ御臨席ヲ願ツタノモ其
ノ關係カラノ意圖ニ外ナラナカツタノデア
リマス、主計局長ハ貴族院ノ關係モアツテ
御急ギニナル御様子ニアリマスカラ、先ヅ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

主計局長ニ對スル質疑ヲ先ニ致シタイト存
ジマス、大藏省政府委員ニ御伺ヒ致シタイ
第一點ハ、大藏省ニ於テモ鋭意官吏待遇ノ
合理化ト云フコトヲ企圖シテ居ルヤニ仄聞
致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ官吏待遇

ノ合理化ト云フ目標ニ對スル大藏省トシテ
ノ具體的ナ御考ヘ方ヲ一應伺ツテ置キタイ
○木内政府委員 只今御質問ノ官吏定員ノ
合理化ト云フ問題デアリマスガ、此ノ問題
ニ付キマシテハ從來モ既ニ相當注意ヲ拂ツ
テ參ツタノデアリマスガ、特ニ明年度ノ豫
算ニ於キマシテ此ノ點ニ付テ相當注意ヲ拂

ツテ居ルノデアリマス、此ノ官吏定員ノ合

理化ヲ圖リマシタ理由ハ、御承知ノヤウニ

從來官吏ノ定員ガ豫算ノ上ノ定員ト、官制

上ノ定員ト、ソレカラ官吏ノ現在員トノ間

ニ相當ノ開キガアルノデアリマス、豫算ニ

ハ相當ノ員數ヲ組ンデアリマシテモ官制上

ノ定員ガ其ノ通リニナツテ居ラナイノモア

リマスシ、又官制ニアリマシテモ、ソレダ

ケノ人間ガ實際居ラナカツタリシテ居ルノ

デアリマス、其ノ原因ハ色々アルダラウト

思フノデアリマスガ、或ハ官吏ノ俸給ガ豫

算ノ單價ヨリモ實際高クナツテ居ル、ソレ

デ豫算ノ上ノ定員ダゲモノヲ置クトシマス

ト經理ガ出來ナイ、賄ヒ切レナイ、斯ウ云

フ點ガ第一點デアルト思フノデアリマス、

少シマスト、ソコニ俸給ノ節約スベキ金額ガ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
不動産登記法中改正法律案(政府
提出貴族院送付)(第七八號)
戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例
院送付(第八四號)
裁判所構成法戰時特例案(政府提
出貴族院送付)(第八三號)
戰時民事特別法案(政府提出貴族
院送付)(第八二號)
戰時刑事特別法案(政府提出貴族
院送付)(第八一號)

出マス、ソレカラ又其ノ人員ノ減少ニ伴ヒ事務費其ノ他ヲ節約致シマシタモノヲ合セマシテ之ヲ財源トシテ賞與ヲ從來ヨリ餘分ニ計上俸給單價ヲ少し高メタモノモアリマス、又之ヲ財源トシテ賞與ヲ從來ヨリ餘分ニ計上致シマシタ、尙ホ應召官吏ノ俸給補填ノ爲メ一定ノ金額ヲ計上致シマシタ、又官吏ノ定員ヲ減ラスコトガ出來ナイ特別ノ事情ノアルモノニ付キマシテハ、定員減少ノ緩和ヲ圖ルト云フヤウナコトモ致シマシテ、今マデノ豫算上ノ定員、官制上ノ定員、實際ノ人員、此ノ間ノ不一致カラ生ズル所ノ弊害ヲ成ベク除去スルヤウニ努メルト云フ趣旨デ行ツタノデアリマス。

○高橋(義)委員 従來ヨリモ具體的ニ一步ヲ進メラレタ御當局ノ方針ヲ諒トスルモノデアリマスガ、或ル程度今御述ベニナツタコトニ付テノ私ノ意見モアリマスガ、時間ノ制約ガアリマスカラ、其ノ點ニハ及ビマセヌデ、只今政府委員ノ御述ベニナラレタ單價ノ問題デスガ、此ノ單價ハ所謂優遇案ノ具體的解決ヲ圖ルノニハ、各省ソレバノ適應シタ單價規定ノ方法ヲ執ル必要ガアルダラウト考ヘラレルノデアリマス、ソレニ關シテハ、特ニ當局ハ各省ノ所謂待遇ノ實情ト、所謂單價ノ引上げニ關スル實際ノ調査ト云フモノヲ具體的ニナサツタカドウカ、ナサツタトスレバ、特ニ私ハ此ノ場合他ノ同僚諸君ト共同シテ、大藏省ニ特ニ御留意ヲ願ヒタイト考ヘルノハ、司法省ノ問題デアリマス、ソコニ重點ヲ置イテノ私ノ質疑デアルコトヲ御諒解ノ上御答辯ヲ煩ハシタイ。

○本内政府委員 只今御質問ノ點デアリマスガ、實際上司法省ニ於キマシテモ、俸給以上ノ比率ニナツテ居ル、即チ拓務省ガ四

表ノ何級ノ人ガ何人、何級ノ人ガ何人居ルカラ其ノ通リノ金額ヲ豫算ニ計上シ、ソレニ對シテ何割ノ賞與ヲ組ムト云フヤウナ譯ニハ參ラナイノデアリマス、併シ先程申シマシタヤウニ、官吏定員ノ合理化ニ依リ成ベク豫算定員、官制定員、現在員、而モ其ノ人人現在受ケテ居ル所ノ俸給ニ近イモノニシヨウト云フノデ、相當ノ努力ヲ拂ツテ參ツテ居ル、譯デアリマス。

○高橋(義)委員 概シテ御當局ノ方針トシテ吾々ノ希望スル所ハ、現在ノ實情、詰り實績ト申シマセウカ、ソレノミヲ基準ニシテノ御取扱ヒニナル場合ニハ、從來ノ高カルベクシテ低カツタト云フ場合ニ、均霑スル傾向が缺如セラレルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、ソコニ私ハ政治ノ妙味ト云フモノヲ勵カセナケレバナラスト思ヒマス、會計検査院ノ調査ニ係ル一例トシテ、賞與及ビ慰勞手當ノ比率ニ付テ見ルト、外務省ハ特別ナ省トシテ別格ニ扱ツテ宜イト思フノデスガ、其ノ他ノ省ニ比較シテ、ドノ年次ヲ見テモ司法省ハ甚ダシク劣悪デアルト云フコトハ、具體的ニ争ヘナイ事實ダト思フ、一例ヲ申上げテ見レバ、昭和十二年ニ於テ司法省ガ十九割八六ト云フコトニナツテ居ル、之ニ對シテ内務省ガ二十五割幾ラ、大藏省ガ四十九割幾ラ、商工省ガ四十二割幾ラ、農林省ガ三十四割幾ラ、十三年度ニ於テモ、稍良クナツテ二十割ニナツテ居リマスガ、併シナガラ内務省ハ二十七割デアリ、大藏省ハ四十割デアル、陸海軍省モ勿論是ヨリ遙カニ宜シイ、農林省四十四割、商工省五十九割五分ト云フヤウニナツテ居ル、遞信、拓務、厚生共ニ司法省ニ比シテ約倍以上ノ比率ニナツテ居ル、即チ拓務省ガ四

十七割幾ラ、厚生省モヤハリ四十七割八四四、翻ツテ負擔シテ居ル仕事ノ量ヲ統計ニ依ツテ見マスト、昭和十七年ノ一月ノ調査年度ニ於テ一人ニ對スル割當件數ガ八百十

五百件、十四年度六百四十七件、十五年度六百二件ト云フヤウニナツテ居ル、大審院デサヘモ一人ニ對スル割當件數ガ十四年、十五年ガ共ニ八十件ヲ超エテ居ル、十三年ナド

ハ百件ヲ超エテ居ル、更ニ檢事ノ負擔件數ヲ比較シテ見マスト、十三年度ガ六百五十

九、十四年度ガ五百四十九、十五年度ガ五百九十一、控訴院、大審院ニシテ見マスト、

法省ニ對スル賞與、慰勞金手當ガ寡少デア

ルト云フコトハ、如何ナル標準ニ基イテ斯

ラ申上げマスナラバ決シテ他省ニ勝ルトモ劣ラザル狀況ニ置カレテ居ルト申サナケレバナラスト思フノデスガ、此ノ點ニ對スル

大藏省當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キマス

○本内政府委員 只今御述ベニナリマシタ

御述ベニナリマシタ割合ニ依リマスガ、是ハ色々統計ノ取り方ナドガアリマスノデ、

チニ司法省ノ職員個人々々ノ受取ル賞與、

慰勞金ノ割合ガ少少イト云フコトハ言ヘナイ

ノデハナイカト思ヒマス、併シ大體ニ付テ

ト思フノデアリマス、然ラバナゼサウ云フ

言ヘバ、司法省ノ職員ノ賞與、慰勞金ガ他ニ比ベテ少シ少少イト云フコトハアルダラウ

ルト思ヒマス、更ニ賞與ノ財源ヲ相當額計上致シテ居リマス、ソレカラ僻地在勤手當

ノ支給範圍ヲ擴張シタリ、或ハ増額モ致シテ居リマス、更ニ區裁判所ノ出張所ノ渡切

費ヲ増額致シテ居リマス、ソレカラ傭人、

小使ヲ守衛ニ昇格セシムルト云フコトモ色考慮致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ

刑務所關係ノモノニ付テ申シマセウナラバ
看守ノ俸給單價ノ引上ヲ二千數百人ニ付テ
行ツタノデアリマス、ソレカラ副看守長制
度ノ創設、或ハ看守長ノ増員、是ハ三百人
餘ヲ増員致シマシタ、又看守宿泊料ノ増加、
看守ノ被服費ノ增加、是モ待遇改善ニ資ス
ルモノト存ジマス、更ニ本年ノ初ニ於キマ
シテ看守及ビ副看守長ニ付キマシテ臨時手
當ヲ支給致シテ居リマス、以上ハ裁判所ノ
職員、刑務所ノ職員ニ付テ最近執リマシタ
處置ノ一部ヲ申上ガタノデアリマスガ、尙
此ノ外更ニ一般的ノ問題トシマシテハ臨時
家族手當ノ支給ト云フヤウナ問題モアリマ
ス、以上申上ゲマシタ諸點ニ依リマシテ、
御心配ノ司法職員ノ待遇改善ニモ相當資シ
テ居ルノデヤナイカト思フノデアリマス、隨
ヒマシテ今後ニ於キマシテハ只今御述ベニ
ナリマシタヤウナ賞與支給ノ割合ト云フモ
ノモ相當上ツテ來ルノデヤナイカト考ヘテ
居リマス

○高橋(義)委員 ソレノ御配意ニナツテ
居ラレマス具體的ノ實情ヲ或ル程度了解ス
ルコトガ出來マシタガ、唯御方針中多少剩
餘アル場合ニ於テハ餘計ニ賞與手當等ガ出
來ルト云フヤウナ趣旨ノ御考ヘ方デスガ、
其ノ點ニ付テハ賞罰ハ極メ公平嚴正ナル
ベキモノデアツテ、所謂各省割據主義、分
捕主義方醸成セラレルヤウナ實際上ノ行キ
方ハ吾々ノ全ク採ラザル所デアリマス、石
田司法省政府委員カラ此ノ場合伺ツテ置キ
タイト思ヒマス、只今大藏當局ノ御答辯ハ
御聽キノ通リナノデスガ、司法省ハドウ云
フ關係デ賞與、慰勞手當ニ振向ケル剩餘金
ガ少クナツテ居ルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ツテ
置キダイ、今私ガ申上ゲタ統計ハ、是ハ會
計検査院ノ統計デスカラ、誤リナシト申上
ガドウシテ少イカト云フ趣旨ノ御質問デア
リマスガ、是ハ根本的ニ申上ゲマスト、今
主計局長カラ仰セニナリマシタヤウニ司法
省ノ抑ミノ財源ガ少イノデアリマスカラ、賞
與ガ少クナルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマ
ス、具體的ニ申上ゲマスト、大陸司法省ノ
經費ハ人件費、俸給費非常ニ多イノデアリ
マス、其ノ俸給ノ殘、モウ一ツ言葉ヲ換へ
テ申シマスレバ、從來ナラバ缺員等ヲ置キ
マシテ、其ノ缺員等ニ依リマシテ賞與ノ財
源ヲ出スト云フノガ大體各省ノ方針デアリ
マスシ、司法省モサウ云フヤウニヤツテ居
ハ甚ダ困ルノデアリマス、併シ相當缺員ヲ
出シ、從來ソレカラ賞與ヲ出シテ居リマス、
サウ致シマスト司法省デ一番考ヘナケレバ
ナラヌ問題ハ、高等官ニ於テモ、判任官ニ於
キマシテモ、相當勤續年數ノ長イ高給ノ俸
給ヲ貰ツテ居ル者モ多イノデアリマス、是
ハ色々ニ事情ガアラウト考ヘルノデアリマ
スガ、平均ノ單價カラ行キマスト、先刻主
計局長カラ言ハレマシタヤウニ段々良クナ
ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○高橋(義)委員 〔原委員長代理退席、委員長着席〕
○本内政府委員 只今初ニ御述ベニナリ
マシタ、成ベク賞與ノ平均適正ナル金額ヲ
豫算ニ計上スルヤウニシロト云フ御話デア
リマス、是ハ先程カラ御話申上ゲマシタヤ
ウニ、又石田政府委員カラモ申上ゲマシタ
ルカ、若シ一部ダケデアルトスレバ、是非
一ツ一般ニ支給シテ戴キタイガ、將來ノ心
構ヘハドウデアルカト云フコトヲ伺ツテ置
キタイ

○高橋(義)委員 〔原委員長代理退席、委員長着席〕
○高橋(義)委員 賞罰ハ便宜主義デ行フベ
キモノデハナクテ、其ノ個人ニ於テ公正觀、
嚴正觀ト云フモノヲ本當ニ満喫セシタル其
ノ方針ニ出タモノデナケレバ、賞與トカ慰
勞費ヲ出ス目的ハ達セラレナイト思ヒマス、
キモノデハナクテ、其ノ個人ニ於テ公正觀、
嚴正觀ト云フモノヲ本當ニ満喫セシタル其
ス、殊ニ今度ノ十七年度ノ豫算ニ於キマシ
テ相當ナル努力ヲ致シタ積リデアリマスガ、
尙ホ今後トモ御趣旨ノ點ニ付キマシテハ、
財政ノ許ス限リ成ベク努力シテ參リタイト
考ヘマス

尙ホ只今御述ベニナリマシタ臨時手當ハ、

是ハ色々ナ理由ガアリマシテ、今御述ベニ
ナリマシタヤウニ、皆様方ノ御主張モアリ
マシタヤウニ、全部ノ者ニヤル譯ニ行カナ
カツタノデアリマス、小學校教員、或ハ警
察官吏、或ハ司法部内ニ於キマシテヘ看守、
副看守長ト云フヤウナ特殊ノモノノミニ限
ツテヤツテ居ルノデアリマス、一般ノ者ニ
對シマシテハ臨時家族手當ヲ支給スルコト
ニナツテ居リマス、是ハ一定ノ家族ニ對シ
一人當リ三圓ト云フコトニシテ、金額ノ
制限ナシニ支給スルコトニシテ居リマス、
尙ホ序ニ申上ゲテ置キマスガ、是ハ官吏一
般ノ待遇ニ關係アル問題デアリマスガ、稅
法上ノ家族控除モ今回増額致シマシテ、待
遇改善、人口政策、斯ウ云フヤウナ見地力
ラ、相當政府ニ於テモ努力致シテ來テ居リ
マス

○高橋(義)委員 臨時家族手當ハ悉ク全般

ニ均等ニ行ツテ居ルコトハ御話ノ通リデア
リマスガ、私ノ御尋ネシタノハ臨時手當
ガ、市町村吏員ヤ小學校教員ニハ全部及ン
デ居ルニモ拘ラズ、司法部内デハ看守等ノ
面ニマデ至急ニ臨時手當ヲ振向ケラレル御
意向ハナイカドウカト云フコトヲ伺ツテ置
キタイ

○本內政府委員 此ノ臨時手當ハ特殊ナモ

ノニダケ支給スル建前デ初メカラ出來テ居

リマシタノデ、其ノ趣旨ニ依リマシテ看守、

副看守長ト云フヤウナ、極ク限ラレタ下級

ノ職員ニ支給サレテ參ツテ居ルノデアリマ

ス、只今ノ所ハ之ヲ其ノ儘他ノ方面ニ擴張

シヨウト云フコトハ實ハマダ考ヘテ居ラナ

イノデアリマス、他ノ方面ニ付キマシテハ、

對シマシテハ臨時家族手當ヲ支給スルコト
ニナツテ居リマス、是ハ一定ノ家族ニ對シ
一人當リ三圓ト云フコトニシテ、金額ノ
制限ナシニ支給スルコトニシテ居リマス、
尙ホ序ニ申上ゲテ置キマスガ、是ハ官吏一
般ノ待遇ニ關係アル問題デアリマスガ、稅
法上ノ家族控除モ今回増額致シマシテ、待
遇改善、人口政策、斯ウ云フヤウナ見地力
ラ、相當政府ニ於テモ努力致シテ來テ居リ
マス

○高橋(義)委員 其ノ特殊ナト云フ意味合

シテ参リタイト思ヒマス

○高橋(義)委員 其ノ特殊ナト云フ意味合

ハドウ云フコトカ知リマセヌガ 裁判所ノ

書記、廷丁ノ如キモノモヤハリ特殊ニナル

ノデハナidesカ

○本內政府委員 御尤モナル御質問デアリマ

スガ、先程御質問ニナリマシタ廷丁ナドニ

付キマシテハ、先程モ申シマシタヤウニ別

ニ豫算單價ノ改訂ト云フヤウナコトヲ致シ

テ居リマス、其ノ方面カラ待遇ノ改善ヲ考

慮シテ參ツテ居ルノデアリマス

○高橋(義)委員 ドウモ先程申上ゲタコト

ニ逆戻リスルヤウデスガ、凡ソ待遇ト云フ

モノガ、從來ノ待遇ハ甚ダシキ不均衡デア

ル、モット深刻ニ申セバ不公平デアル、サ

ウ云フモノノノ上ニ打立テラレタ均等ナ待遇

ト云フヤウナモノハ、ドウモ申々受取レナ

イモノト思フノデス、根本カラ能ク新シク

リマスガ、私ノ御尋ネシタノハ臨時手當

ガ、市町村吏員ヤ小學校教員ニハ全部及ン

デ居ルニモ拘ラズ、司法部内デハ看守等ノ

御留意が願ヘナイカト云フコトデス、ソコデ

建替ヘテ掛ラナケレバナラスト云フコトニ

シテ見タノデス、裁判所書記ノ平均俸給

額ハ從來六十八圓、十七年度ニ若干ノ單價

引上ヲ行ハレタノデアリマスガ、年額僅カ

ニ七十圓、尙ホ廷丁ハ三十圓ニ過ギナイ、

廷丁、書記ノ待遇状況ヲ私此ノ場合ニ一瞥

シテ見タノデス、裁判所書記ノ平均俸給

額ハ從來六十八圓、十七年度ニ若干ノ單價

引上ヲ行ハレタノデアリマスガ、年額僅カ

ニ七十圓、尙ホ廷丁ハ三十圓ニ過ギナイ、

廷丁ハ十七年度ニ於キマシテ單價ガ少シ上

ガ、此ノ計數ハ誤ツテ居リマセウカ

○石田政府委員 斯ウ云フコトニナリマス、

シテ見タノデス、仰シヤウタカラ伺ツタノデ

ス

○高橋(義)委員 私ノ御尋ネシタノハ、十

七年度ノ豫算デドレダケ引上ゲタカ、斯ウ

云フコトヲ伺ツタノデゴザイマス、先刻主

ノデアリマス

遇ヲ致サナケレバナラナイ、處遇セズシテ唯空念佛デ之ヲ求メルト云フコトハ無理デス、其ノ點ヲ深ク考慮シテ戴キタイト思フ、裁判所書記ノ方面ニ付テ一寸考ヘヲ及ボシテ見テモ、二十一年以上三十年以下ノ勤続年數ヲ有シテ居ル者ガ千五百十二人、其ノ平均俸給ガドレダケカト云フト、僅カニ八十ニ圓ニ過ギナイ、臨時手當スラモ貰ヘチイ、斯ウ云フコトニナル、殊ニ書記ノ如キハ、他省ノ行政官ナドニ比較シテ最モ困ルコトハ、法服ヲ自分で作ル、サウ云フコトヲ大藏當局ハ御承知ナイカモ知レナイ、法服ナドト云フモノハ他省ノ行政官ナドニハ要ラナイモノナノデス、ソレヲ餘計ニ自費デ買込マナケレバナラナイ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ大藏當局ハ主計局長トシテ戴キタイ、冒頭ニ各省ニ實數ノ方面ニモ相當頭ヲ使ハレルコトヲ情調査ヲナスツテ居ラレルカト云フコトヲ伺ツタノハサウ云フ點ガアルカラデス、是ハ主計局長トシテハ大所高所カラ大キナ計數ノ方面ニモ相當頭ヲ使ハレルコトヲ大藏當局ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心シテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、斯ウ云フヤウニ私ヘ考ヘラレマスカラ、此ノ場合特ニ大藏當局ノ一層ノ關心ノ深カラシテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、

二千四百七十圓ニ比較致シマシテ、地方裁判所判所書記長ハ僅カニ二千十圓ニ過ギナイ、ナツテ來タト云フノハ、法廷ニ居ル書記ノ人々ノ經濟犯ニ對スル法規規定——斯ウ云フ點ニ付テハ大藏當局モ餘程御考ヘニナツテ然ルベキダト思フ、經濟事犯ハ難カシク、難解デアル、而モ從來殆ド六法全書ノ範圍ヲ出デナカツタ人々ハ、一旦事變以來複雜多煩ノ經濟事犯ト云フモノヲ取扱フコトニ數ヲ有シテ居ル者ガ千五百十二人、其ノ平均俸給ガドレダケカト云フト、僅カニ八十ニ圓ニ過ギナイ、臨時手當スラモ貰ヘチイ、斯ウ云フコトニナル、殊ニ書記ノ如キハ、他省ノ行政官ナドニ比較シテ最モ困ルコトハ、法服ヲ自分で作ル、サウ云フコトヲ大藏當局ハ御承知ナイカモ知レナイ、法服ナドト云フモノハ他省ノ行政官ナドニハ要ラナイモノナノデス、ソレヲ餘計ニ自費デ買込マナケレバナラナイ、斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ大藏當局ハ主計局長トシテ戴キタイ、冒頭ニ各省ニ實數ノ方面ニモ相當頭ヲ使ハレルコトヲ情調査ヲナスツテ居ラレルカト云フコトヲ伺ツタノハサウ云フ點ガアルカラデス、是ハ主計局長トシテ戴キタイ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心シテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、

斯ウ云フヤウニ私ヘ考ヘラレマスカラ、此ノ場合特ニ大藏當局ノ一層ノ關心ノ深カラシテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、

斯ウ云フヤウニ私ヘ考ヘラレマスカラ、此ノ場合特ニ大藏當局ノ一層ノ關心ノ深カラシテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、

斯ウ云フヤウニ私ヘ考ヘラレマスカラ、此ノ場合特ニ大藏當局ノ一層ノ關心ノ深カラシテ、斯ウ云フ點マデ本當ニ朝ナタノ各官省ノ役人達ノ實際生活ノ微細ナ所マデ親心ヲ以テ臨ンデ、其ノ上ニ建設サレタ優遇方法コソ本當ニ血モ涙モアル行キ方デアル、

被下度候、議員俱樂部政務調査會長砂田重政「ト是ハチヤント切手ヲ貼ツテ郵便デ私ノ所ニ參ツテ居ルノデアリマスカラ御覽ヲ願ヒタイ、前ノ大藏大臣ガ約束シテ居ル、「臨時手當ヲ支給スル方針ノ下ニ第二豫備金ニハスルモノノ經費ヲ豫想シテ計上シアル旨言明セラレ」ト、チヤント砂田氏カラ私ノ所ニ此ノ通り書面デ來テ居ル、特ニ請願委員會デモ吾々ノ眼ノ前デ、聲ナキ聲ヲ聽イテ貰ヒタイト言フト、大藏大臣ハ善處致シマスト言ハレタ、是ハ速記録ヲ御覽下サイ、然ルニ政府委員ハ只今左様ナ臨時手當ヲ考ヘテ居ナイト言ハレル、此ノ時ニ議員俱樂部ト申シマスルト、御承知ノ通リ議員全部ノ議員俱樂部デアル、其ノ政務調査會ニ於テ是ダケノコトヲ約束ラシテ居ラレルノデアリマスカラ、今度ハ此ノ約束ヲ是非履行シテ戴キタイ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ナイト云フコトハ非常ナ間違ヒデアル、念ノ爲ニ之ヲ速記ノ方ヘヤツテ置キマスカラ、能ク御覽ヲ願ヒタイ、約束シテ居ルノデス、モウ一應此ノ點ニ付テ、サウ云フ約束ガアルナラバ斯ウ云フ風ニスルトカ、左様ナ約束ガアツテモ私ハ知ラナイト云フノカ、ドチラカ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

リマス、大藏大臣ト砂田サントノ間ニ何カ其ノ間ニ誤解ガオアリニナツタソ、河田サンノ御在任中ニ施行サレマシタ所ノ臨時手當ノ支給ト云フ制度ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、小學校ノ教員ト力其ノ他ニ對スルモノデアリマシテ、司法職員ニ對シマシテハ、看守、ソレカラ副看守長ノミヲ包含致シテ居リマス、併シソレハ此ノ前ノ河田大藏大臣自ラガ行ハレタ臨時手當デアリマス、若シ河田サンガ御質問ノヤウニ御約束ヲハツキリシテ居ラレタナラバ、廷丁等ヲ其ノ中カラ除外サレルコトハナカツタラウト私ハ思フノデアリマス、若シ其ノ點ニ付テ雙方ニ何等カノ誤解ガアツタト致シマスレバ、是ハ又別ナ問題デアルト思ヒマス、一寸速記ヲ止メテ戴キマス
〔速記中止〕

シイナラバ、先ニ司法部ノ御意見ヲ伺ツテ置カウト考ヘテ居ツタノデスガ、御急ギデアツタノデ、ツビ順席ヲ顛倒致シタヤウナ譯デアリマス、尙ホ詳細承リタイコトモアリマスケレドモ、私ノ時間ガナクナリマスカラ、唯一言結論トシテ司法部ニ要望シテ置キタイノデアリマス、司法部ハ兎角斯ウ云フ點ニ付テハ從來非常ニ消極主義ヲ御執リニナツテ居ルノヂヤナイカト思フ、此ノ職掌ト云フモノハ、特ニ裁判ハ天皇ノ名ニ於テ之ヲ行フノデスカラ、最モ尊ブベキ不羈獨立ノ部面ガアリマスケレドモ、扱フ者ハ人間ナノデスカラ、其ノ人間ヲシテ本當ニ眞剣ニ働くセルニハ、働くセルダケノ待遇ハヤハリ自ラ必要ニナツテ來ルト言ハナケレバナラスト思ヒマス、斯様ナ點カラ裁判所ノ待遇ニ付テハモウ少シ積極的ニ乗出シテ戴キタイ、此ノ委員會ノ空氣ヲ御覽ニナツテモ、本當ニ理解ト同情ヲ持ツテ居ルコトガ能ク分ルデアラウト思フ、ソレデアリマスカラ、一ツウント司法部内デオヤリニナツテ戴キタイ、ソレヲ一つ希望致シマシテ、此ノ點ニ關スル質問ハ此ノ程度ニ致シマス

スカラ、大臣ニ對スル質疑ハ後ニ致シマシテ、此ノ裁判所構成法戰時特例案ニ對シテ一寸承リタイノデアリマス、三級審ヲ二級審ニスルト云フコトノ理由トシテ、政府當局ハ、人員不足、交通不便、此ノ二點ヲ御擧ゲニナツテ居ラレマス、此ノ點ヲ御擧ゲニナツタ御心構ヘニ付テモ、大體私共御察シハ出来マスケレドモ、此ノ二點ヲ目標トシテノ斯ウシタ非常ナ改革案ヲ御出しシニナルノテラバ、更ニ此ノ二點ノ調整策トシテ、二級審ニ審級ヲ減縮スル以外ニ、何等カノ具體案ヲ御選ビニナツテ居ラレタノデアルカドウカ、其ノ點ニ付テ伺ツテ見タイ、若シアルトルスルナラバドウ云フ案ヲ御選ビニナツテ、而モ其ノ案ニ對シテハドウ云フ關係カラ結局抛棄セザルヲ得ナカツタノカト云フ點ヲ承リタイ

アリマシテ、此ノ程度ヲ最初ノ問題トシテ考ヘテ、斯様ニ落付イタ次第アリマス、右ノ事情御諒承願ヒタイノデアリマス。○高橋(義)委員 御尋ネニ對スル御答ヘトシテハ、私ノ缺席シテ居ツタ時モアリマシ、出席致シテ居リマシテモ、同僚ノ他ノ議員ニ御答ヘニナツタ點ハ悉ク省略シテ戴キタ。イコトヲ寧ロ希望致シマス、此ノ人員不足ト交通不便ノ二點ノ中、特ニ人員不足ノ點ニアリマスガ、屢々問題ニナツタ人員不足ノ補充ヲスルト云フコトノ一面ノ方法ハ、此ノ優遇案ト云フコトデ或る程度解決が出来ルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ更ニ私ハ司法官ノ優秀ナ希望者ヲ成ベク多ク網羅スルト云フ爲ニ、貸費生ト云フヤウナコトノ——是ハ貸費生ト限ツタコトデハナイノデスガ、何カサウシタ司法官タルベキ將來ヲ約束セラル學徒トノ關聯ト云フヤウナモノヲ結付ケル具體的ナ方策モ、豫メ私ハ事前ニ執ル必要ガアルノデハナイカ、唯漫然ト受身ニナツテ希望者ダケヲ銜スルト云フコトデナシニ、進ンデ事前ニサウトシタヤウナコトガ必要デハナイカト考ヘラレマス、ソレカラ書記ナドモ成程殷賑産業ナド、平和産業デモ或ル部面ハサウダト思フノデスガ、サウ云フ方面ヘノ轉職者モ相當アル、是等ニ付テハ書記ナドニ付テモ何カ一ツノ講習會ト云フヤウナ組織ヲ作ツテ、常ニ街頭ニ出タ、司法省ノ手ガイツモ司法職員ト云フモノノ吸收ニ役立ツト云フヤウナ、何等カノ組織力、機構力ト云フモノヲ茲ニ打立テルコトガ、廳テ優遇案ト表裏一體ヲナスコトニ依ツテ、司法職員ノ充實ヲ完ウスルコトガ出來ルノデハナイカ、大森次官カラ御説明ノ他ノ官廳或ハ他ノ友

邦ヘソレゞ判事、檢事ヲ派遣サレテ居ルコト等カラ生ズル不足ト云フコトモ十分考ヘラマスガ、是等ニ付テハ勿論十分ノ構想ト豫算ヲ取ル必要ガアルト思フノデスガ、私ハ司法ノコトタル、先程大山陸軍法務局長ノ御述ベニナツタ通り、武力ニ勝ツテ今後ニ來ルベキモノニ處スル本當ノ重要ナ鍵ハ司法ニ握ラレテ居ルノダト深ク信ジテ居リマス、此ノ點カラ之ヲ重要視スル時ニ、必要ナル經費ノ支出ハ、是ハ恐ラクハ帝國議會ト雖モ、サウ否定スルモノデハナイト考ヘマス、彼此レ相俟ツテ積極的ナ方策ヲ立て、此ノ所信ニ基イタ豫算ヲ御出シニナツタナラバ、必ズ通過モ疑ヒナイト思ヒマスルガ、其ノ一點人員不足ノ補充策ニ付テ何等カノ御考ヘガナイモノカドウカト云フコトヲ一つ伺ツテ置キタイ。

○大森政府委員 御答ヘヲ致シマスルガ、第一點ノ司法部ニ優良ナ人ヲ迎ヘル方策如何ト云フ點デアリマスルガ、是ハ私共及バズナガラ各大學ニ勵キカケマシテ、時々コチラカラ講演ニモ參リマスルシ、又向フノ要求ニモ應ジマシテ、出來得ル限り司法部ニ拜聽スルノデアリマス、裁判所構成法戰時特例案ト云フガ如キ控訴審ヲ省略スルト云フコトノ案、是ハ決シテ私共望マシカラ云フコトハ、是ハ決シテ私共望マシカラザルコト縷々申述ベタ通リデアリマス、併シ今戰時ノ現狀ニ於キマシテ相當ノ金額ヲ要求スルト云フコトハ蓋シ至難デアリマス、ノ大切ナコト、司法官ノ男子ノ事業トシテ光榮アル所以ヲ力説致シテ居リマスガ、是ガ相當ノ效果ガアルヤニ存ジテ居リマス、ソレカラ又折角司法部ニ志願ヲシナガラ、率直ニ申シマスレバ、他ノ官廳ニ取ラレルト云フヤウナ處モ確カニアルノデアリマシテ、其ノ方策ト致シマシテ、貸費生ノ制度ハマダ試ミテ居リマセヌケレドモ、其ノ中ノ優秀者ヲ司法省ノ屬官又ハ雇ニ少數採用シテ、サウシテ連結ヲ付ケテ置クト云フコトハ現ニ試ミテ居ルノデス、是モ相當成果ガアルヤウニ存ジテ居リマス。

○大森政府委員 幸ニ本案ガ御協賛ヲ經マシテ法律ニナリマシタ場合ハ、是亦既ニ申上ダマシタ通り人員ノ異動ニ付テ相當廣範園ニ亘ルコトニ相成ルダラウト思フノデアリマス、即チ先ツ一應考ヘラマスルノハ、地方裁判所が多少手ガ空クト存ジマス、デアリマスカラ、其ノ一部ヲ割イテ控訴院ニ廻シマス、是ガ即チ控訴院デ上告事件ヲ取扱ヒマスルガ爲ノ手不足ヲ埋ヌル意味デアリマス、ソレカラ區裁判所ニ付キマシテハ、是亦屢々此處デ申述ベマシタ通りニ、區裁判所ノ判事ノ素質ヲ良クスル、是ガ最モ必要ナル先決的ナ問題デアリマスカラ、區裁判所ノ判事ヲ充實スル、此ノ必要ガ迫ツテ來ルダラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此ノ法律ガ公布ニナリマシタナラバ、其ノ直後ニ於テ各監督官ヲ會同シマシテ、之ヲ熟議シテ早速此ノ人員配置ノ手配ニ移リタイト思ツテ居リマス、但シ目下ノ所判事何人ヲドウスルト云フヤウナ考ヘハ付イテ居リマセヌ、大體ノ見込ハ想像的ニハアリマスルケレドモ、是ハ各控訴院ソレゞ特殊ノ事情モアリマセウカラ、是ト熱議ノ上デナケレバ計數上此處ニ申述ベル程度ニ立至ラナイ次第デアリマス。

○高橋(義)委員 私ノ御答ヘヲ願ヒタカツ

タノハ、此ノ異動豫想調べニ對スル計數上

ノ配置關係ガドウナルカト云フコトヲ承リ

タカツタノデアリマスガ、ソンナニ難シイ

ト云フコトヲラバ承リマセヌ、素質ノ問題

ヤナンカヲ承ルコトハ、曩ニ同僚ノ委員ノ

シテ、而モ尙ホ五億圓ノ公債ヲ募集スルト
ノデアリマスガ、併シ亞ノ案ノ如キハ實際
テ居ルノデアリマスガ、國民ハ生業ヲ抛ツ
テ時局ニ協力シナケレバナラヌト云フヤウ
ナ此ノ大キナ犠牲ヲ拂ツテ居ルノデアリマ
ス、斯ウ云フ大キナ犠牲ヲ拂フ者ニ對シテ、
百万圓或ハ二百万圓、五百万圓位ハ何デモ
ナイト思フノデアリマス、是ハ司法省ガ時
局ニ對シテ事件ヲ迅速ニ運ビ、且ツ戰時ニ
對シテ協力ヲナサルト云フ趣旨ハ、私共洵
ニ諒トスルノデアリマスガ、併シ國民ノ此
ノ勞苦ニ對シテ、國民ノ此ノ犠牲ニ對シテ、
何等カ酬イル所ガナケレバ、經濟統制ノ如
キハ、是ハ日本トシテハ第一次ノ歐洲大戰
ニ於ケル「ドイツ」ノ經濟事犯ノアノ滅茶苦
茶ニナツタノニ比較スレバ、非常ニ成績ガ好
イト思フノデアリマス、是ハ唯單ニ統制經
濟デナケレバナラヌト云フ氣持カラ、「イデ
オロギー」ノ問題デ無暗ニ「ドイツ」ヲ模倣
スペキモノノデハナイト私共ハ思フノデアリ
マス、今度ノ戰爭ハ、全ク海軍ノ如キハ、
モウ天下ニ追隨ヲ許サヌヤウナ大戰果ヲ舉
ゲテ居ルノデアリマス、是ハ日本獨特ノ一
ツノ社會政策ニ依ツテ、斯ウ云フ方面ニ是
ダケ大キア犠牲ヲ拂ツテ居ルノダカラ、國
民ノ爲ニ國家ハココデ五百万圓位ヲ司法省
ニ投出スト云フコトハ、他ノ一億圓ヤ五億
圓ト云フ要求ト比較スルナラバ、何デモナ
イコトダト思フノデアリマス、之ニ對シテ
他ト比較シテ戴クコトガ出來ルナラバ、司
法省ハモツト積極的ニ、國民ニ親切ニ裁判
ヲシテヤツテ、而モ是ハ大事ナコトデアツ

ニ關聯シタ所ノ派生のノ事犯ガ出來テ、社會思想ガ惡クナルト云フヤウナゴトガアツテハ由々シキ大事デアリマス、此ノ點ニ關シ積極的ニ之ヲ救濟スル方針ヲ立テルコトガ出來レバ、百万圓デ宜イカ、五百万圓デ宜イカ、自ラ司法省ニ其ノ成算ガアルベキモノト信ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御考ヘハドウカラ伺ヒタノデアリマス〇大森政府委員 第一點ハ、今經濟事犯ノ激増デ大變忙シクナル、ソレハ諒トスルカラ、忙シクナツタナラバソレニ相應スルダケノ人員增加ノ策ヲ何故執ラナカツタカ、斯ウ云フ吾々ニ對スル御鞭撻ノ御趣旨ト拜承致シタノデアリマス、全ク御尤モナ次第デアリマシテ、私共人ガ十分ニ得ラレマスレバ、好ンデ審級省略ノ方策ヲ執ル必要ハ全クナイノデアリマス、併シ金錢ノ問題勿論アリマスガ、御承知ノ通り判事ヲ養成シテ相當ニ役ニ立ツ人ヲ取入レルト云フコトニ付テハ、多大ノ困難ガアルノデアリマス、デアリマスカラ私共ノ努力ガ足ラナイト言ヘバソレマデアリマスガ、其ノ點ニ付テハ私共見込ガ付カナカツタ次第デアリマス

眞似テ吾々ハ一審級ニシヨウトハ思ハナイ
ノデアリマシテ、此ノ案ノヤウニ上告審ヲ
残シテ、之ヲ二審級トスル次第アリマス、
「ドイツ」ノ實例ト又日本ノ實情トハ固ヨリ
異ナルノデアリマスカラ、之ヲ決シテ鵜呑ミ
ニシタ次第モナク、又今後鵜呑ミニシヨウ
トモ思ツテ居リマセヌ、此ノ點ハ左様ニ御
諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○池田(清)委員 人ガ得ラレヌト云フ御話
デゴザイマスガ、待遇サヘ多少好クシテ戴クシル
ナラバ、例ヘバ辯護士ノ如キヲ採用ナサル
ト云フ御方針ノヤウデアリマス、只今ハ御
承知ノ通リ辯護士ノ業務ハ非常ニ減ツテ居
ルノデアリマス、實際ニ於テ統制違反ノ如
キモノガ何万トアツテモ、辯護士ノ手ニ掛
ラスモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、辯
護士ハ必ズシモ多忙デハナイノデアリマス、
又相當ノ人格識見、又法律ノ知識ニ於テモ、
相當ノ人ガ相當數得ラレルト私ヘ思フノデ
アリマス、司法省ニシテ此ノ點ニ目ヲ御注
ギニナルナラバ、三十人ヤ五十人ノ人ヲ得
ルト云フコトハ何デモナイト私共ハ思フノ
デアリマス、斯ウ云フ點ニ御考ヘ及ビニナ
ツカカドウカト云フコトヲ承リタイノデア
リマス

○大森政府委員 極ク暫時デアリマスガ、
速記ヲ一ツ止メテ御願ヒ致シマス

○原委員長代理 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○原委員長代理 速記ヲ始メテ……

○池田(清)委員 昭和十二年デ百八十三人
ダト云フコトデアリマスガ、之ニハ相當ノ
志願者ガアツタノニ、御採用ニナラヌ點モ
アルト思フノデアリマス、各地ノ辯護士會
長ニ相談ヲナスツテ、成績ノ良イモノヲ一

○大森政府委員 アレバ大變結構ダト思ヒ
マスケレドモ、今ノ所デハ品切ト言フト語
弊ガアリマスガ、左様ナ状態デアリマス、
併シ更ニ努力ヲシテ御願ヒヲスレバ來ル見
込ガアルト云フ御趣旨デアリマスガ、吾々
ノ方デモ更ニソレヲ御願ヒスルヤウニ努メ
タイト思ツテ居リマス

○池田(清)委員 人員ノ點ハ其ノ位ニシテ、
三審ヲ二審ニナサルニ付テ、特ニ一番大事
ナ控訴審ヲ御抜キニナルト云フコトハ、是
ハ國民ニ取ツテハ非常ニ打擊デアルノデア
リマス、國民ハ吾々法律ニ携ツテ居ル者ト
ハ一寸考ヘガ違ツテ居ルノデアリマス、申
スマデモナク上告ハ法律違反ノ點ダケヲ審
理サレルノデアリマスガ、國民ノ考ハ無
罪力有罪力、輕イカ重イカダト思フノデアリ
マス、横領罪デ一年罰セラレル、或ハ詐欺
罪デ一年罰セラレル、其ノ罪名ニ付テノ法
律上ノ争ハ、一般國民ハ重キヲ置イテ居ラ
ナイノデアリマス、神様ナラ必ズ分ルト信
ジテ、被告人トシテ見レバ、此ノ事犯ハ自
分ハ斷ジテヤラナイト云フヤウナコトハ自
信ガアル、然ルニソレヲ僞證トカ其ノ他ノ
關係デ、涙ヲ呑ンデ寃罪ニ甘ンジナケレバ
ナラヌト云フコトデ、法律上ノ名義ノ問題
デハナインデアリマス、法律ノ適用ガドウ
斯ウト云フ問題デハナイ、自分ハ斷ジテ無
罪ニナラナケレバナラヌト信ジテ居ル、統
計ニモ御示シノヤウニ、無罪ハ控訴ニ於テ
約割ニ近イノデアリマス、一審判決ノ是
正サレルノガ、約半分以上デアルト見テ居
ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於テ國民ガ

ヲ徹底的ニ審理ヲシテ戴クト云フコトヘ、本當ニ裁判所ニ對シテ要求スル所ハ、事實寧口私ハ控訴審ニアルト思フノデアリマス、法ノ統制トカ、統一トカ、形式トカ、之ヲ整ヘテ全國畫一のノ法ノ運用ヲスルト云フコトニ付テハ、是ハ司法當局トシテ洵ニ尤モダト思フノデアリマス、併シ實際ニ携ハツテ居リマスル各位ハ勿論、吾々法曹界ニ於テモ、此ノ審級制度ヲニ審ニシナケレバナラヌト云フナラバ、寧口控訴審ヲ殘シテ、上告審ヲ除キタイト云フノガ大大多數デアルノデアリマシテ、已ムヲ得ザレバ斯ウンタクトト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ對シイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ、司法當局ハ勿論周密ナル注意ヲ御拂ヒニツタク、コトト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ付テノ反対意見ガ若シアツタナラバ伺ヒタインデアリマス、控訴院、大審院ノ判事等ニ於テハ、此ノ方面ニ付テドウ云フ御意向ヲ持ツテ居ツタカ、サウ云フ司法界ニ於ケル上層階級ノ意向ト言ヒマセウカ、判事方面ノ意向ト言ヒマセウカ、サウ云フ方面ニ付テ全然異論ガナカツタト云フコトハ、私ハドウモ疑問ダト思フノデアリマス、甚ダ突ツ込ンダ質問デアリマスガ、是ハ速記ヲ抜キニシテデモ若シサウ云フ方面ニ付テノ御意見ガアツタナラ伺ヒタイノデアリマス○大森政府委員　只今ノ御答へハ速記ガアツテ結構デアリマス、審級省略ヲ已ムヲ得ストスルナラバ、控訴審ヲ省略スベキカ、結論ダケ簡単ニ申上ゲマス、此ノ點ハ最モ重要ナ問題デアリマスノデ、私共非常ニ頭ヲ惱マシタ問題デアリマス、サウシテ此ノ法案ヲ提出致シマシタ時ニ、全國ノ判檢

事ト相談スル暇ハ勿論アリマセヌデシタ、又左様ナ相談ヲ致シマスナラバ、若シ斯ウ云フヤウナ一部ノ考ヘガ、判事、檢事カラ漏レル筈ハアリマセヌケレドモ、手紙ナリ、給仕、雇、ソレ等カラ漏レルナラ此ノ戰時對策ニ付テ敵國側ニソレガ誤リ傳ヘラレル虞モアリマシテ、左様ナコトハ極メテ慎重ニスベシト云フヤウナ方針モアリマシタ、デスカラ廣ク全國ノ判檢事ト相談シタコトハアリマセヌデシタガ、支那事變以來斯様ナコトガ若シアレバト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、各長官等トハ常々打合セナリ、協議ヲ致シテ居リマス、ソレ等ノ意見ヲ十分參酌致シタノデアリマス、決シテ判檢事少數ノ意見ヲ茲ニ持出シタトハ絶對ニ考ヘテ居ナイノデアリマス、又此ノ法案ヲ一應提案致シマシタ時ニ、東京在住ノ各長官ト極メテ慎重ニ協議ヲ致シタシタケレドモ、勿論此ノ人達ノ間ニハ異論ハナカツタノデアリマス

左様ニナリツツアリマスカラ、事實認定ニ現行規定文民事訴訟法ノ現行ノ解釋ガ幸ヒ付テ上告審ガ強キ權限ヲ持ツモノト云フ、其ノ權限ヲ包括致シマシタル上告審ヲ、残ス、是ガ適當ダラウト云フコトニ結論トシテ相成ツタ次第アリマス、右内情ヲ申述べタ次第アリマス

○池田(清)委員 大分穿ツタ御答辯ヲ承ツタノデアリマス、法ノ統一トカ、或ハ體裁ヲ整ヘルト云フコトモ必要デアリマス、併シ稗益ノ少イコトヲ比較考量シタ場合ニシナガラ私共ハ政治的ニ考ヘテ見マシテ、徒ラニ明文ガアツテモ、單ニ國民ノ實際生活ニ稗益ノ少イコトヲ比較考量シタ場合ニ於テハ、實際生活ニ最モ影響ノ多イモノ、言換ヘレバ數ノ多イ、而モ非常ニ生活ニ不都合ナ犯罪人トナルノデアリマスカラ、實益ノ多イモノニ對シテ考慮シテ存置シテ置クト云フコトハ、大キナ眼カラ見タ所ノ施策デナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ見マスト、ドレガ然ラバソレデアルカト云フコトニ付テハ、少クトモ相當ノ準備期間ヲ置カナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマスト、本法ニ付テハ御説明ノ通り實際詰問ヲスル暇ガナカツタト云フコトデアリマス、併シ戰爭ナラバ速戰即決デ行クノデ差異ガアルト思フノデアリマス、差支ヘナ行カナケレバ、民ニ對シテ親切ト言フ譯ニハ行カヌト思フノデアリマス、必ズシモ是ハ祕密ノコトデハナイト思フノデアリマス、統制經濟ニナレバ數字ニ付テハ是ハ或ル程

セウ、第一次ノ歐洲戰爭ニ於ケル「ドイツ」ノ如キハ物價ガ上ツテ無茶苦茶ニナツタ
街頭ニ列ヲナシテ居ル者ハ今日ノ東京アタリノ比デハナカツタト云フコトデアリマシテ、斯ノ如キコトハ必ズシモ祕密ニスル必要ハナイト思フノデアリマス、生活問題ニ付テ、一世一代ノ犯罪人ニナルカ、五箇年ノ刑ヲ受ケル力受ケナイカト云フコトハ重大問題デアル、五箇年ノ刑ヲ受ケレバ其ノ人ハモウ死ンダト同ジコトデアル、五万圓ノ刑ヲ科セラレタナラバ、商人ハ一撃ノ下ニ倒レテシマフ問題デアリマス、而モ斯ウ云フ重大問題ニ對シテ準備ノ機會ヲ與ヘズ、戰鬪精神ニ依ツテ速戦即決デヤル氣持デアルナラバ、ソレハ非常ナ誤リデハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテノ御考ヘラ伺ヒタイノデアリマス

○大森政府委員 申上ゲルマデモナク大詔ノ渙發アラセラレマシタノハ十二月八日デアリマス、ソレカラ直チニ戰時ニ入ツタノデアリマス、此ノ戰時ニ如何ニ即應スルカト云フ問題ガ即チ此ノ法律案デアリマシテ、司法ノ方面ニ於キマシテハ此ノ問題ヲ早急ニ解決スル必要ガアルノデアリマス、併シ先程モ申シマス通り、ドノ法案デモ全國ノ判檢事總テ相談スルト云フコトハ蓋シ不可能デアリマス、私共此ノ法案ニ於キマシテモ、詰リ祕密ヲ漏ラサザル程度ニ於テ、實際司法經驗者ノ十分ノ意見ヲ聽クト云フコトハ致シタノデアリマス、是ダケヲ御答へラ致シテ置キマス

ヲヤカマシク申上ダルノデハナイ、辯護士會等ニ付テモ、從來ト異ツテ全ク突然ト御示シニナツテ考慮ノ機會ハ殆ドナカツタヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ法律ハ少クトモ相當ノ期間ヲ置イテ、國民ガ知悉すべキ法律デナケレバナラヌノデアリマス、勿論戰時立法デアリマスケレドモ、十二月八日ノ大詔渙敷ニ依ツテ吾々ハ一段ト緊張ヲ加ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、併シナガラ經濟事犯ハ、一ツノ統制法規ニ依ツテ、ドンヽ國民ノ知ラヌ間ニ——ト言ツテハ失禮カモ知レマセヌケレドモ、鬼ニ角何十アルカ分ラヌト云フ状況カイコトハ、何時施行サレテドウナツテ居ルカト云フコトガ分ラヌノデアリマス、ソレ程左様ニ大キナモノガ總動員法デドンドン施行サレテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ犯罪ハ段々重クナツテ、五千圓ガ五万圓トナリ、五箇月ガ五年トナツタノデアリマスガ、併シ是ハ、畏多イ話デアリマスケレドモ、十二月八日以前既ニ發生シタコトデアツテ、其ノ犯事ハ數十犯ニ上ツテ居ルト云フコトガ分ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ多ケレバ多イ程本當ニ吾々ハ心ヲ碎イテ緩和シナケレバナラスト思フノデアリマシテ、是ハ十二月八日前後ト比較サルベキ問題デハナイト思ヒマスガ、重ネテ此ノ點御伺ヒ致シマス

○池田(清)委員 是ハ前ニモ準備ニ付テノ御話ガアツタヤウデアリマスガ、本法ヲ執行スルニ際シテハ、先刻モ御答辯ノ中デ一寸伺ツタノデアリマスガ、相當ニ準備ヲスル必要ガアルト思フ、話セバ分ル、統制經濟ニ付テノ話ヲ檢事局、司法省ニ於テオヤリニナツテ、相當ニ效果ガアルト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマスガ、併シマダ之ニ對スル準備ト云フモノハ私共衝頭デ多ク聞カナインデアリマス、又裁判所ニ於テモノデアリマス、若シ此ノ法律ヲ何時カラ行頭ニ立ツテ、之ヲ國民ニ徹底サセルト云フコトハ、是ハ相當難カシイコトダト思フノ月デアリマス、必ズシモ之ヲ戰時立法ダカラト云フコトヲ豫メ國民ニ知ラセテ下サルコトガ出来ルナラバ、一月デモ宜シイ、二月デモ宜シイ、必ズシモ之ヲ戰時立法ダカラト云ウテ、突如トシテ出ス必要ハナイノデハナイカト思フノデアリマス、古人ノ言葉ニモ「教ヘザル民ヲ以ヒテ戰フハ、是レ之ヲ棄ツト謂フ」ト云フ言葉ガアルノデアリマス、經濟生活ニ付テハ國民ハ教ヘラレテ居テハ、國民ノ多くハソンナ確乎タル信念ヲ持ツデ居ラナイノデアリマス、併シナガムラ物ヲ持ツト云フ一つノ觀念ト云フモノハ、是ハ大名時代ノ政治デモ何デモ全部心得テ居ル、赤ン坊カラ玩具ヲ自分ノ所有ニスルト云フ氣持ハアルノデアリマス、是ハ「イ

併シソレガ「イデオロギー」ト言フナラバソレデモ宜シイノデアリマスガ、斯ウ云フ生活ニ慣レテ來タ者ガ、一朝ニシテ統制經濟ノ羈絆ニ悉ク服セシメ、重刑嚴罰ヲ以テ臨マナケレバナラスト云フコトハ、是ハ實ニ悲痛ナ問題ダト思フノデアリマス、満洲カラ大豆ガ一粒モ來ナクナツタ、五族協和ノ滿洲政府ニ於テ、統制經濟ノ、共產主義ノ一部ノ良イ所ヲ採ツタ趣旨ニ基ク政策ト云フモノガ、必ズ行ハレルカドウカト云フコトヲ考ヘタ時ニ、其榮闇ノ日本人ナラ食ベル物モ食ベナクテモ、齒ヲ食ヒ縛メテモ、生活權ノ確立ガ出來ルマデハ我慢ヲスルノデス、併シナガラ満洲、支那ノ人々ニ必ズシモ日本人ト同ジ氣持ヲ持タセルト云フコトハ困難ダト思フノデアリマス、ソレト同ジヤウニ、裁判官諸公ガ、内務省ノ檢察官諸公ガ、或ハ總理大臣等ノ考ヘテ居ラレルヤウナ御考ヘヲ一般國民ガ全部具ヘテ居ルモノナリト考ヘルナラバ、是ハ少シ無理ナ考ヘ方デハナイカト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テハ在野ノ法曹、或ハ在野ノ政治家ヲ相當ニ御利用ナサルナラバ、準備期間ガ十分アルト思フノデアリマス、此ノ準備期間ヲ取ルコト能ハズト云フコトハ、決シテ私ハ避ケ得ベカラザルモノデハナイト思フノデアリマス、準備期間ヲ置イテ當堂ト國民ニ之ヲ徹底サセテ宜イト思フノデアリマスガ、満洲人デハナイ、支那人デハナイノデス、此ノ點ニ付テノ御準備ハ聊カ足ラヌ憾ミガアリハシナイカト思フノデアリト云フ御考ヘデアルカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタインデアリマス

第二章 基本概念

實審理ヲ區裁判所ダケデ扱フ事案ニ付テ
ハ、ソレハ練達堪能ノ士ヲ任命スルカラ宜
シイ、斯ウ言ハレルノデアリマスガ、併シ是
ハドナタカカラモ御聽キニナツタト思ヒマ
スガ、判事ニハ任地保障ト云フノガアルノ
デアリマス、東京ノ地方裁判所ニ居ツタ人
ガ、田舎ノ、例へバ八王子ニ行クト云フコ
トハ、誰シモ望マナイ所デアリマス、而モ
ソレガ其處ノ裁判所ヘ行ツテモ、一級、二
級上ノ方ニ行ケルト云フモノナラ、又サウ
云フ俸給令デモアルト云フナラ格別デアリ
マスケレドモ、若シサウ云フコトガナイト
レバ、此ノ任地保障ト云フコトヲ権ニ取ツ
テ——ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、任地保
障ガアルガ爲ニ希望シナイ人が多いノデハ
ナイカト思フノデアリマス、同ジ待遇ナラ
誰デモ、地方裁判所ノ所在地、控訴院ノ所
在地、大審院ノ所在地ニ居リタイト云フコ
トハ當然デアリマス、之ヲ逆ニ差支ヘナイ
ヤウニヤルト云フコトハ、一片ノ希望デア
ツテ、實情ニ即セナイモノデアルト思フノ
デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ如何ニ御辯
解ヲナサツテモ、是デハ司法官ノ素質ハ向
上シナイト云フコトハ、争フコトノ出來ナ
イ事實デハナイカト思フノデアリマス、此
ノ點ニ付テハ前ニモ質疑ガアツヤウニ思
ヒマスカラ、御答辯ハ極メテ簡単デ宜シウ
ゴザイマス、裁判所ニ於テハ練達堪能ノ士
ヲ悉ク備ヘ得ルト云フ見透シノ確信アリヤ
否ヤヲ伺ヒタノデアリマス

毎日ノヤウニ起ツテ居リマス、其ノ取扱ニ付テノ経験ヲ申述ベタノデアリマシタガ、開戦前ニ比シ是ガ非常ニ容易ニ行ハレテ居リマス、斯様ナ際ニアルカラ決シテ私心ハ挿マナイ、喜ンデ行クト云フ聲比々皆然リデアリマス、其ノ経験ノ實際カラ推シマシテ、私共ノ見込ミニ左程間違ヒハナカラウト云フコトヲ、前回來申述ベテ居ル次第デアリマス

マスガ、是ハ從來モ隨分屢々アツタノデアリ
シ、調停ニ出シタモノヲ裁判所ニ出シテ、
恰モ鹽廻シノ如キコトヲヤツテ事案ヲコン
グラカシ、事案ヲ長引カセ、而モ多クハ債
務者ノ利益ニナルヤウナ處置ヲ非常ニ執ツ
テ居ツタノデアリマスガ、此ノ十四條ガ出
來タラ更ニ輪ニ輪ヲ掛ケテ、新シイ調停法ヲ
ニ基イテ昔ノ鹽廻シミタヤウナ方法ヲ執ル
憂ヒガ澤山アリハシナイカト思フノデアリ
マス、又此ノ調停法ハ一面ニ於テハ話合トナ
レバ、約束シテ居リナガラ多クハ債務者ガ
義務ヲ履行シナイデ、而モソレヲ半分ニ負
ケテ吳レ、五分ノ四ニ、三分ノ一ニ負ケトナ
吳レトカ云フヤウニ值切ツテ來ルノデアリ
マス、今回調停ヲ擴張サレルニ付テハ豫
斯ウ云フ弊害ノ點ヲドウ御考ヘニナツタカ
今度ノ調停法ニ付テハサウ云フコトニ付テ
ハ何等豫防ガナイヤウニ思ヒマスガ、此ノ
點ニ關スル御考ヘヲ伺ヒタインデアリマス
○大森政府委員 調停ノ利害ニ付キマシテ
ハ及バズナガラ私共モ相當ニ深ク考ヘテ居
ル積リデアリマス、從來ノ實績ヲ見マスル
ト、成程御指摘ノヤウニ好マシカラザル事
例モ確カニアリマシタ、又調停委員ガ調停
ニ慣レナイガ爲ニ、徒ラニ義務的ニ片付ケ
ントスル弊風、是モ確カニアリマシタ、併
シ私共ハ調停制度ハ之ヲ善用致シマスナラ
バ極メテ結構ナ理想的ナ制度ト思ツテ居リ
マスルカラ、之ガ健全ナル發達ニ及バズニ
ガラ微力ヲ盡シタノデアリマス、今日ノ實
績必ズシモ十分ダトハ申シマセヌ、ヤハリ

○池田(清)委員 一寸遡リマスガ、戰時民事特別法ノ第九條ニ「裁判所相當ト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ代ヘ書面ノ提出ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、本法ハ宣誓ヲオセニナラヌト云フコトハ前ノ御答辯デ伺ツタノデアリマスガ、宣誓ヲサセナイト云フト、是デ偽證ヲシタ場合ニハ、之ヲ追究スルコトガ出来ナイノデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ宣誓ト云フ重キ制裁ガアレバコソ、偽證ノ罰ヲ伴ツテコソ、證言、鑑定等ニ付テハ慎重ナ態度ヲ執ルコトト思フノデアリマス、若シ此ノ懲ノ法案通りデ、原則トシテ、書面ヲシテ證據力ヲ十分持タセルコトガ出来ルトナルト、此ノ法ヲ惡用シテ偽證助長ノ弊ガ非常ニ多クナルト思フノデアリマス、此ノ弊ハ寧ロ簡略ヲ尊ブ利益ヨリモ非常ニ私ハ多イト思フノデアリマス、偽證ヲスルイカガハシイ人間ハ免レテ恥ナキ徒デ、裁判ヲ根本的ニ覆スト云フ處ガ十分ニアルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ在野法曹ノ如キハ殆ド全部ガ、此ノ九條ハ削除シテ貴ヒタイト云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマスガ、司法省ノ御考ヘハアベコベニ、鑑定人、證人ニ對シテ宣誓ヲサセレバ重キ偽證ガ伴フカラ、ソレデ宣誓ヲサセナカツタト云フ風ニ聽エタノデアリマスルガ、併シ宣誓ヲサセナイデ、而モ其ノ目的ヲ達スル

云フ御説明ハ、私ハ聽クコトが出來ナイノ
デアリマス、ドウゾ其ノ點ヲ御説明願ヒタ
イノデアリマス

此ノ點ハ御諒承願ヒタイノデアリマス
○池田(清)委員 従來ノ経験ニ依リマスト、
宣誓ヲサセテモ相當ニ偽證スル者ガアルト

○大森政府委員 戰時民事特別法案第九條

云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアリマス、

ノ立案ノ趣旨ニ付キマシテハ、私共ノ考へ
ハ少シ違フノデアリマス、丁度御質問ニ依
リマシテ釋明ノ機會ヲ得タコトヲ喜ブ次第
ハサセナイ積リデアリマス、詰リ戰時下忙
シイヤウナ場合ニ、宣誓ノ爲ニ出頭スル、
其ノ手間ダケデモ省カウト云フ趣旨デアリ
マス、宣誓ヲシナインデアリマスカラ、僞
證ノ問題ニナリマシテモ宣誓違反ト云フコ
トハ出テ參リマセヌ、デアリマスルカラ、
此ノ「裁判所相當ト認ムルトキ」ト申シマ
スルノハ、裁判所ガ餘程之ヲ嚴格ニ解釋ス
ベキデアリマシテ、宣誓ヲシナクテモ大丈
夫ト云フ見込ノ付ク場合ニ於テノミ之ヲ利
用スベキモノダト云フ趣旨デアリマス、サ
ウシテ又宣誓ヲサセズニ書面ヲ出サセマシ
テ、此ノ場合ニ之ヲ信憑スルヤ否ヤハ、是
亦別箇ノ問題デアリマスルカラ、裁判所此
ノ信憑ヲ決スルニ當ツテ、是ハ宣誓ヲシナ
イデ、唯書面ヲ出シタモノトシテ、其ノ頭
デ以テ信ズベキヤ否ヤヲ判断致シマセウカ
ラ、僞證續出ト云フヤウナ虞ハナイヤニ存
イデ、唯書面ヲ出シタモノトシテ、其ノ頭
デ以テ信ズベキヤ否ヤヲ判断致シマセウカ
ラ、僞證續出ト云フヤウナ虞ハナイヤニ存
ズルノデアリマス、ノミナラズ裁判所ガソ
レニ胡麻化サレルト云フコトハナカラウト
存ズルノデアリマス、即チ此ノ便法タルヤ、
裁判所ヘ出頭スル此ノ煩勞ヲ避ケシメルダ
ケノ話デアリマシテ、ソレモ今申シマシタ
ヤウニ、之ヲ極メテ嚴格ニ解釋ヲシテ、嚴
格ニ利用サセルト云フ積リデアリマス、又
之ヲ以テ裁判所ノ信憑ヲ害スルヤウナ端ヲ

是ハ洵ニ悲シムベキコトデアリマスケレドモ、又偽證罪デ罰セラレテ居ル人モ相當ニアルノデアリマス、若シ原則トシテ斯クノ如ク相當ト認ムルトキハ宣誓ヲサセナインデ、書物ダケデ裁判ヲサセルノダヨト云フタナラバ、宣誓ヲシテスラモ犯人ガ相當ニアルノダカラ、况ヤ宣誓ヲサセナイニ於テヲヤド云フ論法ハ、必ズ的中スルデハナイカト云フコトヲ、不幸ニシテ憂慮セザルヲタマシテ、何トカ此ノ點ニ付テ書面ニ依ツ得ナイノデアリマス、併シ此ノ點ハ見解ノ相違デスガ、餘リニ大キナ見解ノ相違デアリマシテ、何トカ此ノ點ニ付テ書面ニ依ツテ宣誓ヲサセルトカ何トカ云フ方法が考へラレナイコトハナイト思フノデアリマス、書面ニ依ツテ宣誓ヲ明示サセル意思ハナイカ、サウ云フ風ニナサル御考ヘハナイカ、伺ヒタインデアリマス

○大森政府委員　書面ニ依ル宣誓ノ途ヲ開ク積リハ今日ナイノデアリマス、其ノ理由ヲ簡單ニ申シマスレバ、私共先程ノ御意見ノ通りニ、宣誓ニ重キヲ置キマスルカラ、宣誓ハ峻嚴ナル法廷ニ於テノミナスベキモノダ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、御承知ノ外國ノ立法例ニ依リマスト、裁判所以ノ通リニ、宣誓ニ重キヲ置キマスルカラ、宣誓スルコトヲ認ヌテ居ル立法例モアルノデゴザイマスガ、其ノ法制ハ採用ノ問題ニアリマスルガ、先程申述ベマシタ通り、極メテ是ハ嚴格ニヤル積リデアリマス、サウシテ今日デモ御承知ノ通リ書憑

○池田(清)委員 御説明ハ洵ニ論理的デ、
私共モ其ノ通リダト思フノデアリマス、併シ
社會萬般ノ事必ズシモ理論ニ合ツテ居ラヌ
コトガ不幸ニシテ多キコトヲ悲シムノデア
リマス、是ハ宣誓ハ嚴格ニシナケレバナラヌ、法
廷デナケレバナラヌト云フコトハ、洵ニ御
説ノ通りデアリマス、併シナガラ民事ニ於
テハ證據ガ全部ヲ左右スルト言ツテ宜シイ
ノデアリマス、ソレ程大キナ力ヲ持ツテ居
ル、裁判ノ裁斷ノ材料ハ證據ヲ措イテ何モ
ナイノデアリマス、一本ノ書狀デ正シイカ
正シクナイカト云フコトヲ、遠隔ノ地ニア
ル者ヲシテ宣誓モ何モサセズニ出サセテ、
本當ニ良心ニ從ツテ其ノ審理ヲ纏メルト云
フコトハ蓋シ至難ノコトダト私ハ思フノデ
アリマス、少クトモ裁判ニ上ルヤウナモノ
ハ、到底常識ヲ以テ律スルコトノ出來ナイ
ヤウナモノ、即チ凡ユル手段ヲ講ジタケレ
ドモ到頭裁判ニナツタ、斯ウ云フ場合ト見
ナケレバナラヌノデアリマシテ、斯クノ如
キ場合ニハ、モウ相當ニ常識ヲ超越シタル所
ノ、非常ニコヂレタモノガ訴訟ニ多イト云
フコトヲ覺悟シナケレバナラヌノデアリマ
ス、併シナガラ是モ意見ノ相違デアルナラ
バ仕方ガアリマセヌガ、何等カノ御考慮ヲ
拂ツテ戴カナケレバナラヌト云フコトヲ申
上ゲて置クノデアリマス
ソレカラ辯護人ノ制限ノコトデアリマス
ガ、公判期日ニ係ル召喚狀ヲ受ケタ日カラ
十日ヲ経過シタ時ニハ、之ヲ絕對ニ異定ス

リマス、然ラバ被告人ニ於テ公判期日ヲ期シナイ、裁判ノ審理ニ付テハ寧ロ迅速ヲ希望シテ居ルノダト云フ場合ニ於テハ、十日ヲ過ギタリト雖モ之ヲ認メテモ宜イデハナイカト私ハ思フノデアリマス、是ハ全ク不當ナル辯護權ノ制限デハナイカ、斯ウ云フ意味カラ少クトモ延期ヲシナイ、審理ヲ妨ゲルト云フヤウナコトハ毛頭ナイト云フ氣持カラ出ル場合ニハ、公判日ニ御許シニナツテモ差支ヘナイト思ヒマス、此ノ點ハ如何デアリマスカ

○池田(克)政府委員 辯護人ノ選任ノ時期ニ付キマシテ十日間ト云フ制限ヲ置キマシタノハ、度々御説明申上ガタ點デモゴザイマスルガ、公判期日ノ召喚狀ノ送達ヲ受ケマシタ日カラ十日間ゴザイマスレバ、被告人ニ於キマシテ辯護人選任ノ手續ヲ執ルニ十分ナ餘裕ガアル、斯様ニ考ヘマシテ此ノ規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス、併シナガラ十日間ヲ以テハ到底不十分ナリト認メラレル場合モアリマセウ、殊ニ被告人ニ於キマシテ、辯護人ヲ選任スルコトガ出來ナカツタニ付キマシテ正當ナ事由ガアル、已ムヲ得ナイ事由ガアル、斯ウ云フ場合モ當然豫想サレマスノデ、ソコデ更ニ但書ノ規定ヲ設ケマシテ、左様ナ已ムヲ得ナイ事情ニ依ツテ選任スルコトガ出來マセヌデシタ場合ニ於テハ、裁判所ノ許可ヲ受ケテ異任

ヲスルコトガ出來ルノダ、大體此ノ但書ノ規定ノ運用ニ依リマシテ、實際ノ運用上ニ於テハ支障ナシ、斯様ニ考ヘマシタ次第デゴザイマス、左様御諒承願ヒマス

○池田(清)委員 是ハドウモ私ハ一寸根本觀念方違ヒ過ギテ居ルト思フノデアリマス、裁判ノ迅速ヲ御貴ビニナリ、或ハ澤山ノ辯護人ガ居ツテハイカスト云フノデ、斯様ナコトヲナサツタノデアルト思フノデアリマスガ、何等ノ事由ガナクテモ自分ガ正當ナル

裁判ヲ受ケタイト云フ氣持ハ認メテヤラナケレバナラスト思ヒマス、何ニモ事由ガナクテモ、公判ガ終ルマデ、或ハ判決ガアルマデハ、苟クモ公判ガ始マツテカラデモ之ヲ制限スル理由ハ何等ナイト思フノデアリマス、但書デ已ムヲ得ナイ時ハ出來ルト云フヤウナコトヲ言フ必要ハ何處カラ來テ居ルカト云ヘバ、是ハ全ク辯護權ヲ制限スルコトガ宜イト云フ前提ガナケレバ、斯ウ云フ已ムコトヲ得ザルト云フ事由ヲ附加ヘル根據ハ何處カラモ出テ來ナイト思ヒマス、

是ハ根本ニ於テ原則論ガ既ニ制限シタイト云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

○池田(克)政府委員 實ハ此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ辯護權ヲ制限シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方デハナインデアリマシテ、戰時下ニ於キマシテ手續ノ簡便化ト云フ事由ヲ付テ上告越意書具ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由

云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

○池田(清)委員 實ハ此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ辯護權ヲ制限シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方デハナインデアリマシテ、戰時下ニ於キマシテ手續ノ簡便化ト云フ事由ヲ付テ上告越意書具ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由

云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

○池田(克)政府委員 實ハ此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ辯護權ヲ制限シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方デハナインデアリマシテ、戰時下ニ於キマシテ手續ノ簡便化ト云フ事由ヲ付テ上告越意書具ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由

云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

○池田(清)委員 實ハ此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ辯護權ヲ制限シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方デハナインデアリマシテ、戰時下ニ於キマシテ手續ノ簡便化ト云フ事由ヲ付テ上告越意書具ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由

云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

○池田(清)委員 實ハ此ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ辯護權ヲ制限シヨウト云ツタヤウナ考ヘ方デハナインデアリマシテ、戰時下ニ於キマシテ手續ノ簡便化ト云フ事由ヲ付テ上告越意書具ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由

云フ氣持カラ出テ來タ規定デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス

居ル、何モ已ムコトヲ得ナイ事由ガナクテモアツテモ、被告人ガ自分ハ法律ニ暗イカラ、最後ニハ公判立ツテ大イニ検事ノ論告ニ堂々對抗シテ貰ヒタイト云フ確信ガアル場合ニハ、十日過ギタカラ、二十日過ギタルカラト云ツテ、之ヲ制限スル何等ノ由ガ

ナイト思フ、全ク辯護權ノ制限以外ニ何等タカラト云ツテ、之ヲ制限スル何等ノ由ガ

ノデアルカ、モウ少シ掘下ゲテ御説明ガ願ヒタイテモ實ハ御説明申上ゲタ事項デゴザイマスガ、本條ノ規定ヲ設ケマシタノハ、本條ニ

テモ實ハ御説明申上ゲタ事項デゴザイマスガ、本條ノ規定ヲ設ケマシタノハ、本條ニ

間ニ極メテ熱心ナル質疑應答ガ繰返サレ、凡ソ各方面ニ瓦ツテノ檢討ガ行ハレタノデ、私ハ出來ルダケ重複ヲ避ケマシテ、且ツ簡潔ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

先づ第一ニ直接法案ニ關係スル質疑カラ始メタイト存ジマスガ、其ノ第一點ハ此ノ「戰時」ト云フ言葉ノ内容デアリマス、此ノ四法案共ニ「戰時」ト云フ言葉ガ冠セラレテ

デアルト云フ場合デゴザイマスノデ、辯論ヲ經ズシテ棄却ノ判決ヲナシ得マスコトハ、戰時下大審院ニ於ケル手續ノ機能ヲシテ、一層必要ナル審理、裁判ノ方ニ力ヲ集中セシムルコトニナルコトデアリマシテ、洵ニ

望マシイ手續デハナカラウカ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス、裁判公開主義ヲ否定スルノデハナイカト云フ御尋ねデゴザイマスケレドモ、此處デ申上ゲルマデモナク、實

ハ憲法ノ五十九條ノアノ裁判公開主義ニハ全然相背馳シナイト考ヘテ居リマス、左様御諒承ラ賜リタイ

コデ私ハ之ニ關聯致シマシテ一點伺ヒタイト存ジマズルノハ、ソコマデハツキリ御説明ヲサレルナラバ、寧ロ私ハ此ノ四法案共ニ「大東亞戰時」ト云フ名前ヲハツキリ附ケマシタ方ガ宜カツタノデハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘルノデアリマスルガ、ソレハ專ラ立法技術ト申シマスルカ、或ハ法律ノ體裁上カラ「戰時」トサレタノデアリマセウカ、他ニ何カ特別ナ意味ガアルカドウカ、

其ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○大森政府委員 唯私共ノ立案當時ノ心持

デアリマスルガ、一應御聽キヲ願ヒタトイ存ジマス、只今御述ベニチリマシタ通り、是ハ勿論大東亞戰爭ニノミ限ル積リデアリマス、ソコデ私共ノ氣持デアリマスルガ、此

ノ大東亞戰爭ハ我國ニ關スル限り是ガ最後ノ戰爭デアツテ、是レ以後戰時ト云フモノヲ吾々ハ少クトモ考ヘナイ方ガ宜イノデ

ハナイカ、即チ「戰時」ト言ヘバ直グ吾々ノ氣持デ以テ「戰時」ト云フ文字ヲ故ラ書イカ、相成ベクハサウ響カセタイト云フ一種

タ次第デアリマス、右御諒承ヲ願ヒマス

○石坂(繁)委員 承知致シマシタ——石坂繁君

○原委員長代理 承知致シマシタ——石坂繁君

○石坂(繁)委員 第二點ハ戰時特別法案ニ付テ二、三御伺ヒ致シマスルガ、其ノ第一點ハ、第七條ニ「戰時ニ際シ國政ヲ變亂スルコトヲ目的トシテ」云々トアリマス、國政ヲ變亂スルト云フ其ノ意味、或ハ其ノ言葉ノ内容デアリマス

〔原委員長代理退席、委員長着席〕

是ハ御承知ノ通リニ、他ノ法律デハ刑法第十七條ニ朝憲紊亂ノ規定ガゴザイマスガ、此ノ刑法第七十七條ノ朝憲紊亂ト云フ意味ト、茲ニ新タニ掲ガラレマシタ國政ヲ變亂スルト云フ言葉ノ範囲ト申シマスカ、其ノ内容、廣サト云フヤウナモノニ付テノ御説明ヲ願ヒタイ

○池田(克)政府委員 第七條ニ規定致シマシタ「國政ノ變亂」ト申シマスノハ、國家ノ基本的ナ政治ヲ意味スル言葉トシテ用ヒマシタノデゴザイマス、此ノ「國政」ト申シマスルノハ、基本的ナ政治組織ト基本的ナル國家ノ政策、此ノ二ツヲ包含スル觀念トシテ實ハ用ヒマシタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ基本的ナ政治ヲ意味スル限リニ於キマシテ、刑法ノ所謂朝憲ト同ジデゴザイマス、併シ朝憲ト申シマスト、御案内デモルノハ、基本的ナ政治組織ト基本的ナル國家ノ政策、此ノ二ツヲ包含スル觀念トシテ實ハ用ヒマシタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ基本的ナ政治ヲ意味スル限リニ於キマシテ、刑法ノ所謂朝憲ト同ジデゴザイマス、併シ朝憲ト申シマスト、御案内デモルノハ、基本的ナ政治組織ヲ變更サセル、或ハ混亂セシメルト云フ意味デゴザイマシテ、左様ナ目的ヲ以テ人ヲ殺スノデアリマスカラ、其ノ殺害ノ對象トナルベキ人ハ、其ノ動機目的カラ見マシテ、ゴザイマス通りニ、裁判所ノ判例ガ一定シテ居リマシテ、國家ノ基本的ナ政治組織ヲ謂フノダ、政治ト云ツタヤウナ動キノ方面、動的ナ方面ニ於キマスル觀念トシテハ朝憲ト云フ文字ハ用ヒラレテ居リマセヌ、併シナガラ戰時下ニ於キマシテ、國家ノ基本的ナ政治ノ運行ヲ確保致シマスルコトガ極メテ肝要デゴザイマスルノデ、ソコデソレ等ヲ使ヒマシタ次第デゴザイマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○石坂(繁)委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、一應抽象的ナ意味ハ了承致シマシタガ、更ニ具體的ニモウ少シク例示的ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○池田(克)政府委員 例ヘバ議會制度デアルトカ、或ハ司法制度デアルトカ、或ハ内閣制度ト云フヤウナ制度ガ之ニ含マレルコレトカ、或ハ司法院制度デアルトカ、或ハ内閣制度ト云フヤウナ制度ガ之ニ含マレルコレトカ、或ハ内閣ノ外交政策或ハ政治政策ト云フモノガドウモ弱イ、ソコデモウ少シ强硬外交政策ヲ執ラシメナケレバナラスト云フヤウナ意味ニ於キマシテハ、本條ニ規定シマスヤウナ行爲方大體想定サレルノデゴザイマス、左様ナ國家ノ基本的ナ外交政策、或ハ經濟政策ト云フモノヲモ、此ノ國政ノ概念ノ中ニ包含セシムル趣旨デゴザイマス、尙ホ御質問ノ範圍外デゴザイマスケレドモ、本條ニ於キマシテハ、「國政ヲ變動スルコトヲ目的トシテ人ヲ殺シ」云々トゴザイマス、變亂ト申シマスノハ、詰リ其ノ國家ノ基本的ナ政治ヲ不法ニ變更サセル、或ハ混亂セシメルト云フ意味デゴザイマシテ、左様ナ目的ヲ以テ人ヲ殺スノデアリマスカラ、其ノ殺害ノ對象トナルベキ人ハ、其ノ動機目的カラ見マシテ、ゴザイマス通りニ、裁判所ノ判例ガ一定シテ居リマシテ、國家ノ基本的ナ政治組織ヲ謂フノダ、政治ト云ツタヤウナ動キノ方面、動的ナ方面ニ於キマスル觀念トシテハ朝憲ト云フ文字ハ用ヒラレテ居リマセヌ、併シナガラ戰時下ニ於キマシテ、國家ノ基本的ナ政治ノ運行ヲ確保致シマスルノデ、ソコデソレ等ヲ使ヒマシタ次第デゴザイマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○石坂(繁)委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、賣製造等ヲ業トシテヤツテ居ル者ダケヲ指スノデアルカドウカト云フ點、ソレカラ更ニ生活必需品ト云フモノヲ、重ネテ是ハ刑事上ニ對シ辯護人二人ヲ超ユルコトヲ得ズト云フ規定デスガ、是ハ從來ノ私共ノ經驗ニ徴シマスト、同ジ刑事案件ニサウ澤山辯護人ノ必要モ感ジマセヌガ、ヤハリ辯護人ニ依ツテ各々専所ヲ異ニ致シマスルシ、辯論ノ趣旨モ自ラ違ツテ來ル、ヤハリ三人位ガ一番適當デナイカト考ヘテ居ル次第アリマス、御示シヲ願ヒマシタ資料ニ依リマスト、昭和十四年七月カラ昭和十五年六月マデ、被告一人ニ對スル辯護人ノ平均率ハ、一審ニ於テ一・四人、二審ニ尙テ一・七人、平均一・六人ト云フ數字ニナツテ居ル、尙ホ昭和十五年七月カラ昭和十六年六月マデニ於キマ

シテハ、一審ニ於テ一・五人、二審ニ於テ一・七人、平均一・六人ト云フ風ナ數字ガ示
サレテ居ルノデアリマス、ソコデ當局ノ御
考ヘト致シマシテハ、斯クノ如ク二人マデ
ニハナツテ居ラナイ、デアルカラ二人ト云フ
コトニシタノデアルト云フ御説明ノヤウデ
アリマスルガ、私ハ斯様ニ特ニ制限サレタ
ヤウナ規定ヲ設ケラレルガ故ニ、何トナシ
ニ此ノ法案自體ガ民衆ニ對シテ壓迫感ヲ興
ヘル、司法當局ノ示サレタル如ク、從來ノ
統計ニ依ルナラバ、一被告人ニ對シテ二名
ニナツテ居ラナイト云フコトデアルナラバ、
之ヲ寧ロ二名ヲドト云フ規定ヲ設ケナイ方
ガ、法案自體ニ對シテサウ云フ壓迫感ヲ興
ヘナイデ、法案ノ成立ヲ容易ナラシメタカ
ト云フ感じモ致シマスルシ、或ハ又若シ制
限ヲ設ケルナラバ、二名ヲ三名ニシテモ格
別ノ支障ガナカツタノデヤナイカ、斯ウ云
フ風ナ感じガ致スノデアリマシテ、特ニ此
ノ點ヲ二名ニ制限サレマシタ理由ヲ重ネテ
承リダイノデアリマス

○石坂(繁)委員 只今ノ御説明デハ私ハ十分了承致シマセヌケレドモ、併シ一應只今ノ御説明ヲ其ノ程度ニ承リマシテ、法案ニ對スル直接ノ質疑ハ是デ終了致シマス。尙ホ私ハ其ノ外ノ關係ニ付テ少シバカリノ點ニ付キマシテモ、數日來種々ノ觀點カラノ御質疑ガアツタノデアリマスルガ、私ハ聊カ觀點ヲ異ニシテ伺ヒタイト存ジマス。ハ司法制度ニ關スル質疑デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、數日來種々ノ觀點カラノ御質疑ガアツタノデアリマスルガ、私ハ聊カ觀點ヲ異ニシテ伺ヒタイト存ジマス。長會同ニ先ダチマシテ、司法省ヨリ辯護士制度改正ニ關スル諸問案ガ出テ居ツタノデ年五月三十日ノ全國司法部長官、辯護士會長會同ハ答申ヲ致シマシタ、其ノ答申ノ趣旨ハ現行辯護士法ノ制定以來日尚淺キヲ以テ此ノ際慎重研究ヲ爲サズシテ輕々ニ之ガ改ざル所ナリト雖モ政府ニ於テ辯護士制度ノ改正ニ着手セラル場合ニ於テハ左ノ諸點マシテハ此ノ程度ノ犠牲ヲ拂フコトモ、被告人トシテマア我慢シテ貰ハネバナラヌ、斯様ナ意味合ニ於キマシテ此ノ規定ヲ設ケ國防保安法ニモ先例ガゴザイマスシ、尙ホ事情ハ異ニ致シテ居リマスケレドモ、又主タル参考ニハナラヌト思ヒマスケレドモ、現ニ軍法會議法ニ於テモ同様ナ規定ガゴザイマス、左様ナ意味ニ於テ御諒承ヲ賜ハリタイト存ズル次第ゴザイマス。

制度ノ改正ニ關シ官民合同ノ調査研究機關ヲ設クリコト、二、現下法令ノ頻發ト其ノ範域ノ擴大ニ伴ヒ辯護士ノ職能ヲ擴充シ各般ノ法令ノ制定及實施ニ參劃セシムル様具體的方策ヲ講ズルコト、三、朝野ノ法曹ニ通ジテ其ノ資格教習等ノ劃一ヲ計リ以テ辯護士ト司法官トノ間ノ差別ヲ撤廢セシムル様法制ヲ定ムルコト」斯ウ云フ意見ヲ附シタ答申案が提出サレテ居ルノデアリマス、此ノ答申案ハ、全國各地方カラ提出致シマシタ此ノ辯護士制度改正ニ對スル種々ノ具體的答申案ヲ要約致シ、之ヲ抽象シテ纏メタノデアリマシテ、當時ノ三宅司法次官ハ、之ニ對シテ、調査機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付テハ、御趣旨ニ副フヤウニ取計畫ト云フ趣旨ノ意見ノ開陳ガアツタト私ハ記憶シテ居リマス、私ハ其ノ會同ニ出席シテ居タ爲ニソレフ承知シテ居リマスガ、其ノ後如何様ニナリマシタカ、此ノ答申案ニ附加致シマシタ三箇條ハ、多年在野法曹ガ司法制度改革ノ一方途トシテ主張シテ參リマシタコトヲ要約致シタト申シテモ宜シイノデアリマス、司法省カラノ諸問案ニ對スル答申案デアリマスル以上ハ、司法省ハ之ヲ其ノ儘ニ放置シテ居ラレル筈モナイト考ヘラレマスガ、寡聞ニシテマダ其ノ後ノ成行ヲ承知致シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ此ノ點ニ關スル其ノ後ノ成行、或ハ又今後ドウナサル御考ヘデアルカト云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

只今御話ノアリマシタ通り、ヤハリ在朝在野ノ法曹ヲ更ニ密接ニ連絡シテ、私共ノ方カラ申シマスレバ、更ニ廣ク且ツ深ク御援助ヲ願ヒタイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、サウシテ調査機關ヲ設ケマシテモ、何等具體的ノ問題ガアリマセヌト一向審議ガ進ミマセヌカラ、幹事案ト云フカ、一應吾々ノ方デ假案ヲ拵ヘマシテ——尤モ之ニ固執スル意向ハ毫モナインデアリマスガ、審議ノ中心問題ヲ選ビマシテ、サウシテ審議ヲ願ヒタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第ニアリマス、然ルニ御承知ノヤウニ、近頃他ノ事務ガ非常ニ繁忙ニナツテ参リマシテ、其ノ幹事案ノ作成遲々トシテ進ミマセヌガ、近ク何トカ之ヲ進行シタイト思ツテ居リマス、事情ハ右ノ通りアリマス

○石坂(繁)委員　此ノ辯護士制度改正ニ關スル問題ハ、獨り辯護士制度ノミヲ改正致シマシタ所デ、十分デアルトハ申サレナイノノデアリマシテ、言フマデモナク司法制度全體ニ關スル根本的の改正ヲ必要トスルト存ジマス、私共在野法曹ノ一人ト致シマシテハ、常ニ司法制度運用ノ一環トシテ辯護士ノ存在ヲ考ヘテ居リマス、而モ大東亞戰爭ガ展開致シマスルニ付キマシテモ、我が國ノ指導スベキ範圍ハ極メテ廣クナツテ参リマス、是ハ私カラ事新シク申上ゲルマデモナイト思ヒマス、私ハ豫テカラ凡ソ司法權ノ尊嚴維持ト其ノ運營ノ適正ト云フコトハ、天下政道ノ根本デアル、而シテ天下綱紀ノ繫ガル所デアリマスルガ故ニ、是ハ國家ノ根本問題デアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、此ノ大東亞共榮圈建設ト云フ大キナル理想實現ニ向ツテ邁進スル時

ニ於テ、一層其ノ然ル所以ヲ考ヘルノデア
リマシテ、私ガ大山局長ノ言ニ満足ノ意ヲ
表スル所以ノモノモ、是等ノ點ニ基因スル
ノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ際司法當局
ニ要望致シタイコトハ、獨リ辯護士制度ノ
改革ト云フ點ニ止マラズ、其ノ一局部ニ止
マラズ、司法制度全體ニ關スル根本的ノ改
革ヲ立案セラレマシテ、北ハ蒙古、滿洲、
支那ヨリ、南方諸地域ニ關スル全廣域ヲ包
含シタ雄大ナル構想ト經綸ノ下ニ、此ノ司
法制度改革ニ關スル根本的ノ構想ヲナサル
ベキ必要アリト考ヘマス、色々事務多忙、
或ハ手不足ト云フヤウナコトハ、數日來度
度ノ御説明ニ依ツテ諒承ハ致シテ居リマス
ルガ、其ノ根本問題ハ私ガ此處デ申上ゲル
コトガ必要トサレル時期ニ差迫ツテ居ルト
思フ、之ニ關シマシテ練達ナル大森次官ノ
御意見ヲ承リタイ

○大森政府委員 只今御懇篤ナ御言葉ヲ以
チマシテ私共ヲ御鞭撻ニ相成リマシタ、衷
心感謝ヲ致ス次第アリマス、前回ニモ申
述べマシタ通リニ、私共適當ノ時期ガ参リ
マスルナラバ、御説ノ通り雄大ナル理想ヲ
確立致シマシテ、其ノ爲ニ邁進シタイト考
ヘテ居ルノデアリマス、今日デハドウカ此
ノ程度ニ御聽キヲ願ヒタイト存ズルノデア
リマス

○石坂(繁)委員 先日モ又今日ノ午前中モ
大森次官カラ承ツタノデアリマスガ、畏ク
モ宣戰ノ大詔渙發後、司法官諸公ノ考ヘ方
モ非常ニ變ツテ來テ、身分保障等ヲ楯ニ取
コトニ對シマシテ、私モ流石ニ司法官諸公
デアルト敬意ヲ拂フ次第ゴザイマスガ、

私共、在野法曹ト致シマシテハ、此ノ時局下
ニ於キマシテ、殊ニ此ノ大東亞戰爭勃發後
ノ考ヘ方ト云フモノハ、同様非常ニ變ツテ
マラズ、司法制度全體ニ關スル根本的ノ改
革ヲ立案セラレマシテ、北ハ蒙古、滿洲、
支那ヨリ、南方諸地域ニ關スル全廣域ヲ包
含シタ雄大ナル構想ト經綸ノ下ニ、此ノ司
法制度改革ニ關スル根本的ノ構想ヲナサル
ベキ必要アリト考ヘマス、色々事務多忙、
或ハ手不足ト云フヤウナコトハ、數日來度
度ノ御説明ニ依ツテ諒承ハ致シテ居リマス
ルガ、其ノ根本問題ハ私ガ此處デ申上ゲル
コトガ必要トサレル時期ニ差迫ツテ居ルト
思フ、之ニ關シマシテ練達ナル大森次官ノ
御意見ヲ承リタイ

○大森政府委員 只今御懇篤ナ御言葉ヲ以
チマシテ私共ヲ御鞭撻ニ相成リマシタ、衷
心感謝ヲ致ス次第アリマス、前回ニモ申
述べマシタ通リニ、私共適當ノ時期ガ参リ
マスルナラバ、御説ノ通り雄大ナル理想ヲ
確立致シマシテ、其ノ爲ニ邁進シタイト考
ヘテ居ルノデアリマス、今日デハドウカ此
ノ程度ニ御聽キヲ願ヒタイト存ズルノデア
リマス

○石坂(繁)委員 只今ノ大森次官ノ御心緒
ニ對スル御奉公ノ職域ガ擴張サレテ然ルベ
キモノデアル、從來ハトモ致シマスルト、
辯護士ハ自分ノ事務所カラ法廷ヘ、斯クノ
如クシテ職域奉公ヲ致シテ居ツタノデアリ
マスガ、モウ少シク社會的ニ御奉公ガナサ
ルベキデアルト、斯様ニ考ヘマス、ソコデ
私ハ司法當局ニ要望致シタイト存ジマスコ
トハ、今少シク辯護士ノ社會的協力、是等辯護
士諸君ノ時局即應ノ考ヘ方ヲ活カシマシテ、
例ヘバ、昨日デアリマシタカ、大森次官ノ
仰セラレマシタ通リニ、統制違反事件ヲ絶
滅スル爲ニハ、自分達モ努メテ街頭ニ出ヨ
ウ、斯ウ云フコトヲ仰セニナツタノデアリ
マスルガ、一面ニ於テ非常ニ手不足ヲ痛感

○石坂(繁)委員 只今ノ大森次官カラ承ツタノデアリマスガ、畏ク
モ宣戰ノ大詔渙發後、司法官諸公ノ考ヘ方
モ非常ニ變ツテ來テ、身分保障等ヲ楯ニ取
コトニ對シマシテ、私モ流石ニ司法官諸公
デアルト敬意ヲ拂フ次第ゴザイマスガ、

私共、在野法曹ト致シマシテハ、此ノ時局下
ニ於キマシテ、殊ニ此ノ大東亞戰爭勃發後
ノ考ヘ方ト云フモノハ、同様非常ニ變ツテ
マラズ、司法制度全體ニ關スル根本的ノ改
革ヲ立案セラレマシテ、北ハ蒙古、滿洲、
支那ヨリ、南方諸地域ニ關スル全廣域ヲ包
含シタ雄大ナル構想ト經綸ノ下ニ、此ノ司
法制度改革ニ關スル根本的ノ構想ヲナサル
ベキ必要アリト考ヘマス、色々事務多忙、
或ハ手不足ト云フヤウナコトハ、數日來度
度ノ御説明ニ依ツテ諒承ハ致シテ居リマス
ルガ、其ノ根本問題ハ私ガ此處デ申上ゲル
コトガ必要トサレル時期ニ差迫ツテ居ルト
思フ、之ニ關シマシテ練達ナル大森次官ノ
御意見ヲ承リタイ

○大森政府委員 洵ニ力強キ御言葉ヲ拜聴
致シマシテ、實ニ欣快ニ存ズル次第アリマ
ス、私共自他共ニ在朝在野法曹ト云フコ
トヲ能ク使ツテハ居リマスケレドモ、私ハ
此ノ言葉ノ如キハ甚ダ水臭イ言葉ダト存ジ
テ居ルノデアリマス、即チ在朝トカ在野ト
カ言ハズシテ、オ互ニ正義維持ノ爲ニ共同
ノ目的ヲ持ツテ働く者デアリマス、
即チ此ノ點ニ於テ、法曹ノ間ニ在朝在野ノ
區別ガアルベキ筈ハナインデアリマス、デ
アリマスカラ、御指摘ノヤウナ問題ニ付テ、
私共ハ今後ニ一層シツカリト手ヲ握リマ
シテ、オ互ニ邁進ヲシテ行キタイト存ズル
次第アリマス、尙ほ經濟統制ノ問題ニ付
キマシテ、昨年十一月ノ一日ヲ初メト致シ
マシテ、數日間全國ニ運動ヲ起シマシタ、
其ノ時ニハ東京ヲ初メ各地ノ辯護士會長、
辯護士諸君ニ大變ナ御援助ヲ受ケテ居ツタ
ノデアリマスガ、斯様な場合ニ於テ、冀ク
ヲ擴張シナケレバナラスト云フヤウナ悲鳴
マスガ、實ハサウ考ヘタノデアリマス、ソ
ンナ意味デナシニ、斯クノ如キ時局下ニ於
テ、在野法曹デアル私共ハ、今少シク國家
ニ對スル御奉公ノ職域ガ擴張サレテ然ルベ
キモノデアル、從來ハトモ致シマスルト、
辯護士ハ自分ノ事務所カラ法廷ヘ、斯クノ
如クシテ職域奉公ヲ致シテ居ツタノデアリ
マスガ、モウ少シク社會的ニ御奉公ガナサ
ルベキデアルト、斯様ニ考ヘマス、ソコデ
私ハ司法當局ニ要望致シタイト存ジマスコ
トハ、今少シク辯護士ノ社會的協力、是等辯護
士諸君ノ時局即應ノ考ヘ方ヲ活カシマシテ、
例ヘバ、昨日デアリマシタカ、大森次官ノ
仰セラレマシタ通リニ、統制違反事件ヲ絶
滅スル爲ニハ、自分達モ努メテ街頭ニ出ヨ
ウ、斯ウ云フコトヲ仰セニナツタノデアリ
マスルガ、一面ニ於テ非常ニ手不足ヲ痛感

○大森政府委員 洵ニ力強キ御言葉ヲ拜聴
致シマシテ、實ニ欣快ニ存ズル次第アリマ
ス、私共自他共ニ在朝在野法曹ト云フコ
トヲ能ク使ツテハ居リマスケレドモ、私ハ
此ノ言葉ノ如キハ甚ダ水臭イ言葉ダト存ジ
テ居ルノデアリマス、即チ在朝トカ在野ト
カ言ハズシテ、オ互ニ正義維持ノ爲ニ共同
ノ目的ヲ持ツテ働く者デアリマス、
即チ此ノ點ニ於テ、法曹ノ間ニ在朝在野ノ
區別ガアルベキ筈ハナインデアリマス、デ
アリマスカラ、御指摘ノヤウナ問題ニ付テ、
私共ハ今後ニ一層シツカリト手ヲ握リマ
シテ、オ互ニ邁進ヲシテ行キタイト存ズル
次第アリマス、尙ほ經濟統制ノ問題ニ付
キマシテ、昨年十一月ノ一日ヲ初メト致シ
マシテ、數日間全國ニ運動ヲ起シマシタ、
其ノ時ニハ東京ヲ初メ各地ノ辯護士會長、
辯護士諸君ニ大變ナ御援助ヲ受ケテ居ツタ
ノデアリマスガ、斯様な場合ニ於テ、冀ク
ヲ擴張シナケレバナラスト云フヤウナ悲鳴
マスガ、實ハサウ考ヘタノデアリマス、ソ
ンナ意味デナシニ、斯クノ如キ時局下ニ於
テ、在野法曹デアル私共ハ、今少シク國家
ニ對スル御奉公ノ職域ガ擴張サレテ然ルベ
キモノデアル、從來ハトモ致シマスルト、
辯護士ハ自分ノ事務所カラ法廷ヘ、斯クノ
如クシテ職域奉公ヲ致シテ居ツタノデアリ
マスガ、モウ少シク社會的ニ御奉公ガナサ
ルベキデアルト、斯様ニ考ヘマス、ソコデ
私ハ司法當局ニ要望致シタイト存ジマスコ
トハ、今少シク辯護士ノ社會的協力、是等辯護
士諸君ノ時局即應ノ考ヘ方ヲ活カシマシテ、
例ヘバ、昨日デアリマシタカ、大森次官ノ
仰セラレマシタ通リニ、統制違反事件ヲ絶
滅スル爲ニハ、自分達モ努メテ街頭ニ出ヨ
ウ、斯ウ云フコトヲ仰セニナツタノデアリ
マスルガ、一面ニ於テ非常ニ手不足ヲ痛感

ラナカツタヤウニ存ジマス、私共田舎ノ裁判所所在地ニ居リマシテ相當ノ年數ヲ經タ
ノデアリマス、隨ヒマシテ長イ間勤續致シテ居ル書記諸君ヲ能ク存ジテ居リマスガ、
ドウモ其ニ段々健康ヲ害シテ來ル人ガアルノデアリマス、ソレモドウモ心配サレル
ヤウナ病氣デハナイカ、サウ云フ病氣ニ罹
ル人ガ少イトモ申サレマセヌ、ダカラ私ハ
此ノ司法書記諸君ニ對シテ、是等ノ點ニ關
スル共濟施設ト申シマスカ、サウ云フヤウ
ナ點ガドノ程度行渡ツテ居ルカ、其ノ點ヲ
私能ク存ジマセヌノデ、是ハ會計課長カラ
ニデモ御示シヲ願ヘレバ仕合セデアリマス、
今日マデノ現狀及ビ今後一層保健衛生ニ關
スル施設ヲ十分ニシテ戴キタイ、斯様ナ希
望ヲ附加ヘマシテ、實情ヲ承リタイト思ヒ
マス

ノモノヲ設立致シマシタ、是ハ判任官以下
ノ者ノ各自ノ積立金、及ビソレト同額ノ政
府ノ豫算ヲ取リマシテ、此ノ兩方ヲ合セテ
資金ト致シマシテ、之ニ依リ主トシテ職員
ノ醫療施設ニ當ラシメルト云フコトニ相成
リマシタ、マダ漸ク一年シカ經チマセヌノ
デ、十分成績ヲ擧ゲテ居ルトハ申セマセヌ
ケレドモ、餘程宜イノヂ、ヤナイカト思ヒマ
ス、細カイコトハ覺エテ居リマセヌケレド
モ、大體保險醫ニ對スル治療費ノ八割、或
ハ家族ノ場合ニハ何割ト云フモノヲ支給ス
ル、ソレヲ喜ンデ貰ツテ居マス、尙ホ其ノ
資金ニ付キマシテハ將來段々多クシテ行カ
ウト考ヘテ居ルノデアリマス、單ニ醫療施
設ノミナラズ、一般ノ福利施設ト云フヤウ
ナ點マデ及ボス見込ノ下ニ、各省トモ通ジ
テヤツテ居ル次第デアリマス、將來はハ相
當大キナモノニナルノデハナイカ、此點ハ
決シテ司法省モ遲レテ居ナイト云フコトヲ
申上ゲテ置キマス、尙ホ司法省デハ——是
ハ高等官モ判任官モ一緒デゴザイマスガ、
各自ノ積立ニ依リマシテ法曹會ト云フノガ
アリマス、此ノ法曹會ト云フモノガ財團法
人ニナツテ居リマシテ、醫療施設其ノ他福
利施設等ノ計畫ヲ現ニ實行シテ居リマス、
是ハ外ノ省ニナイ所デアリマス、尙ホ各裁
判所等ニ於キマシテ色々共濟組合式ノモノ
ヲ作リマシテ、各裁判所毎ニ何カ研究シテ
居ルヤウナモノモゴザイマスガ、其ノ計畫
等ヲ此處デマダ十分發表申上ゲルマデニ至
シテ、私見ヲ申上ゲマシテ、當局ノ御意向
ツテ居リマセヌ

ニ付キマシテハ、本案ガ本會議ニ上程サレ
マシテ以來、此ノ委員會マデ引續キマシテ
種々論議ガゴザイマシタ、サウシテ先日刑
事局長カラ驚クベキ數字ヲ示サレタノデア
リマス、實ハ時局益々重大トナツテ參リマス
ルニ拘リマセズ、依然トシテ斯様ニ經濟統制
違反ガ増加致シテ居リマスコトヲ、私共實
ニ遺憾ニ存ジマス、ソコデ之ニ對スル處罰
ノ態度デゴザイマスガ、從來檢事局、裁判
所、極メテ嚴罰ノ態度ヲ以テ臨マレテ來ラ
レタヤウニ存ジマス、私モ惡質ノ者ニ對シ
マシテ嚴罰ヲ以テ臨ムコトハ當然デアルト
考ヘマスルガ、併シナガラ經濟統制違反ト
雖モ、ヤハリ情狀ノ酌ムベキハ酌ミ、酌量
スペキハ酌量スベキデアツテ、決シテ一律
ニ嚴罰ヲ以テ臨ムノハ適當デナイト考ヘマ
ス、ト申シマスノハ、先程池田清秋君モ論
及サレマシタヤウデゴザイマスガ、何ヲ申
シマシテモ、國民ハ長イ間自由主義、利潤
追求ノ取引ニ慣レテ參ツタ、統制經濟ガ段
段強化サレマスルコトハ、支那事變以來時
局ガ深刻化スルニ從ヒマシテ已ムヲ得ナイ
サレテ參ツテ居リマセヌ、然ルニ政府ナリ、
コトトハ言ヒナガラ、長イ間ノ國民ノ習性
未ダ強化サレツツアル所ノ統制經濟ニ馴致
ヘテ參リマスト、私ハ未ダ必ズシモサウデ
廣イ意味ニ於テ爲政者ハ、ソレナラバ一般
國民ヲ能ク統制經濟ノ強化ニ馴致サレルヤ
ウニ指導シテ參ツタカドウカ、此ノ點ヲ考
ヘサウ云フ非難モ已ムヲ得ナイヤウナ場
ハナイト思ヒマス、昔ノ言葉ニ民ヲ網ニス
ルト云フ言葉ガアリマスガ、或ル場合ニ於
コデ今日ノ如キ時局ハ非常ニ大キナル展開

ヲ致シマシテ、何ト申シマシテモ統制經濟ガ強化サレナケレバナラヌ、サウシテ依然トシテ重大ナル時局下ニ在ツテモ統制經濟違反ガ多クナルト云フコトハ、國民トシテ恥ヅベキコトデアル、ダカラソレハドウシテモ根絶シナケレバナラヌノデアリマスルガ、ソレニ對シテ吾々モノ責任ヲ感ゼナケレバナラヌ、政府ノ當路者モ十分ニ其ノ由ツテ來ル所ヲ考ヘラレマシテ、茲ニ國民ニ對スル所ノ指導、或ハ啓蒙ト申シマスルカ、斯ウ云フコトガ必要ニナツテ來ルデアラウト存ジマス、斯ノ如クシテモ尙且ツ違反ヲヤルナラバ、是ハ斷乎トシテ嚴罰ヲ以テ臨ムベキデアラウト存ジマスルガ、ドウ致シマシテモ私ハ民ヲシテ恥アリ且ツ至ラシメナケレバナラヌ、昔ノ人ハ之ヲ導クニ徳ヲ以テス、之ヲ整ヘルニ禮ヲ以テスレバ民恥ヂ且ツ至ルト申シテ居リマス、然ルニ從來ノ狀況ハドチラカト申シマスト、免レテ恥ナキ態度ヲ以テ來タ、ソレハ勿論國民モ惡イノデアリマスケレドモ、併シ爲政者モ十分ニソコニ反省ラシナケレバナラヌ、ソコデ問題ハ昨日ノ大森次官ノ仰セノ如クニ、自分達自ラ忙シイケレドモ衝頭ニ出テ、是ガ根絶ヲ期スルコトニ努力シヨウ、洵ニ結構デアリマス、是非私ハサウシテ戴キタイ、サウシテ其ノコトニ付キマシテハ私共在野法曹人モ、或ハ議會人モ協力シマス、ガ併シ更ニ一步進メテ、ソレハ國民ノ社會正義ノ觀念、倫理道德ノ觀念カラ是正シテ掛ラナケレバナラヌ、是ガ私ハ根本デアルト思ヒマス、ソコデ私ハ司法當局ガ衝頭ニ出ラレルコトヲ、モウ百尺竿頭一步ヲ進メラレテ、文教ノ府デアル文部當局、其ノ文部當局ノ下ニアル教育ノ直

接ノ任ニ當ツテ居ラレル人達、要スルニ是等ノ文教關係ノ人達ト協力シテ、眞ニ國民ノ社會正義ノ觀念、倫理道德ノ觀念ヲ叩キ直シテ、サウシテ眞ニ國家ノ要請ニ應ズルヤウニ、司法當局ハ折角街頭ニ出ラレタ其ノ勇斷ト御努力ヲソコマデ推シ進メテ戴キタイ、斯様ニ存ジマス、勿論忙ガシイノニ人ガ足リナイ、サウスルノニハ容易デハナキノデアリマセウケレドモ、統制經濟違反ハ是非トモ撃滅スペキデアリ、統制經濟違反ガ依然トシテ多イノハ國民トシテ恥ヅベキコトデアルト云フコトヲ十分ニ知ラシメマス爲ニハ、司法一本槍デモ行キマセス、ソコデ私は茲ニ司法當局ト文教當局トノ協力、之ニ依リマシテ國民ノ指導ヲ十分ニ徹底シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、此ノ點ニ關スル御當局ノ御意見ヲ承りタイ

○大森政府委員 御說洵ニ御尤モニ拜聽致シタノデアリマス、昨年十一月一日以後數日間行ヒマシタ違法週間に於キマシテハ、專ラ商工會議所ノ援助ヲ求メタノデアリマス、ソレハ第一次ノ問題ト致シマシテ、統制違反ノ問題ニ付テハ商工會議所ガ最モ密接ナル關係ニアリマスルカラ、是ガ極メテ效果的デアルト感ジタノデアリマス、先づ幸ヒニ其ノ成績ガ良好デアツタト存ジマスルカラ、是カラ第二次、第三次、第四次ト段々ト其ノ運動ヲ擴大シテ參リタイト存ズルノデアリマス、此ノ次ニハ丁度御指摘ノ通リニ文部當局ト連繫ヲ致シマシテ、其ノ方面カラ運動ヲ擴大シテ思ヒマシテ、舊臘既ニ其ノ交渉ヲ終リマシテ、丁度議會ニ入りマシタカラ、議會ガ終了デモ致シマシ

○石坂 繁委員 御懇懃ナル御答辯ヲ感謝致シマス、私ノ質疑ハ是デ終了致シマス
○野村委員長 佐竹君
○佐竹委員 先づ最初ニ御尋ネ申上ゲルノハ、今回ノ戰時民事、刑事特別法案ガ大東亞戰爭ニ限ツテ適用スル考ヘデアル、再び斯ウシタ戰爭ハ考ヘラナイト御説明ガアリマシタ、所ガ今回ノ大東亞戰爭ノ宣戰布告ノ御詔勅ニハ「朕茲ニ米國及び英國ニ對シテ戰ヲ宣ス」ト宣セラレテ居リマス、今若シ北滿ノ護り危殆ニ瀕シマシテ、萬ガ一ニモ戰ヲ宣スルノ餘儀ナキ事態ガ發生致シマシタナラバ、此ノ法律ヲ適用スルコトガ出来ナイデアリマセウカ、承リタイト存ジマス
○大森政府委員 大東亞戰爭ガ終了致シマシテ、然ル後ニ假ニ第二次又ハ第三次ノ戰爭ガ起ルト致シマシタナラバ、其ノ第二次又ハ第三次ノ戰爭ニハ此ノ法律ハ適用フシナイン積リデアリマス、ト申シマスルノハ、其ノ所謂第一次、第二次ノ戰爭ガ如何ナル規模ノモノデアルカ分リマセヌケレドモ、必ずヤ此ノ大東亞戰爭ノ如キ大規模ノモノトモ思ハレナイノデアリマス、デアリマスルカラ、若シ其ノ第二次、第三次ノ戰爭ガ大東亞戰爭ノ如キ大規模ノモノニ相成リマスルナラバ、斯様ナ特例ヲ必要ト致シマセウカカラ、ソレハ其ノ際ニ改メテ何等カノ方策ヲ講ジタイ、斯様ナ積リデアリマス、何レモ二タイト存ジマス
○佐竹委員 私ハ以下主トシテ今回ノ改正

案中最モ重大デアリマスル控訴ヲ許サナイ
規定ヲ設ケマシテ點ニ付テ御尋ネラ申上ゲ
テ見タイト存ジマス、事實審ヲ一審デ止メ
ルト云フコトハ、假令ソレガ一定ノ事案ニ
限ラレテ居ルニモセヨ、司法制度ニ關スル
一大變革デアリマス、民心ニ及ボス影響ハ
又甚大ナモノガアリマスノデ、更ニ十分其
ノ理由ヲ徹底セシムルノ要ガアルト思フノ
デアリマス、政府ハ提案理由ノ説明書ニ於
テ、戰時下ニ於ケル裁判所及び檢事局ノ機
能ヲ高メ、司法裁判ノ運行ノ迅速ヲ期スル
爲メ、應急臨時ノ特例ヲ設クル必要アル旨
ヲ述べラレマシタ、且ツ當委員會ニ於カレ
マシテハ、斯クノ如キ改正ハ洵ニ好マン
カラヌコトデアル、併シ戰時下迅速ニ事務
ヲ處理スル必要ガアツテ、又他面司法職員
ノ手薄ニ鑑ミテ已ムナクサウスルヨリ外ニ
ハナイト説明ヲナサレマシタガ、果シテ斯
様ナ事務的且ツ應急臨時的ナ必要カラ、今
回ノ改正ヲ企圖セザルヲ得ナカツタト云フ
コトガ唯一ノ理由デゴザイマセウカ、是程
ノ劃期的ナ一大變革ヲナスノデゴザイマス
カラ、モット／＼深い根柢ガアルデハナイ
カト思フ、是ハ誰シモ考ヘサセラレルデ所
アリマス、即チ今日世界ヲ擧ゲテ舊ノ殻ヲ
破ツテ、新シイ形ヲ整ヘヨウト致シテ居リ
マス、新シイ生命ヲ盛ラウト致シテ居リマ
ス、此ノ世界ノ情勢ニ即應致シマシテ、新
秩序ノ建設ノ一翼ト致シマシテ司法制度ニ
モ一大革新ヲ斷行シヨウト云フ希望ガ湧イ
テ參リマスノハ、是ハ自然ノ理デアラウト
存ジマス、斯ウシタ空氣ガ又今回ノ改正ノ
底流ヲナシテ居ルデハナイカト考ヘラレマ
スガ、忌憚ナキ御意見ヲ承ルコトが出來
シタナラバ幸ヒト存ジマス

○大森政府委員 審級省略ノ理由ニ付キマシテハ屢々申述べタ通リデゴザイマシテ、其ノ他ニ何等潜シダル理由ハナインデアリマス、御指摘ノ通りニ段々ト時勢ガ進歩シテ参リマスニ連レテ、今日ノ司法制度ヲ改革シナケレバナラナイト云フコトハ、是ハ御説ノ通リデアリマシテ、司法制度全般ニ付テ改善ヲ要スペキモノハ多々アルト存ズルノデアリマス、併シ私共ハ永久法トシテ司法制度ノ改善トシテ審級ヲ省略スル考ヘハ毫モ持ツテ居ネイノデアリマシテ、繰返シ申上ガルマデモナク、此ノ控訴審省略ト云フ問題ハ、戰時ノ特例トシテノミ考ヘタノデアリマシテ、永久的施設トシテ控訴審或ハ其ノ他ノ審級ヲ省略スルト云フヤウナ見込ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、是ダケハ明白ニ申述ベテ置キマス

ノ三審制度ノ如キハ正ニ司法制度ノ屋臺骨
デハナイカト私ハ存ジマス、容易ニ是ガ變
更ヲ企テキデハナイト考ヘマス、國民ハ
安シジテ之ニ信頼シ、國民ハ此ノ制度ニ依
ツテ初メテノ生命、財產、生活ヲ保障セラ
レテ居ルト云フ安全感ヲ持ツテ居リマス、
以テ一切ヲ捧ゲテ國ニ奉ジヨウツル精神
ノ根據ヲ成シ居ルノデアリマスカラ、若シ
此ノ根本制度ヲ一時的ニモセヨ、又臨時應
急ニモセヨ廢止スルコトハ、司法制度自體
ニ對スル根本ノ動搖ヲ來ス虞ナシトシナイ
ト思フノデアリマス、政府ハ斯クノ如キ改
革が國民ノ司法ニ對スル絕對感損ヒヲ、司
法制度ノ動搖ガ廳テ自分ノ將來ヲドウスル
コトニナルカモ分ラヌト云フ不安ヲ與フル
虞ナシト保障セラレルデアリマセウカ、將
又此ノ制度ノ改正ガ在朝、在野ノ法曹ニ與
フル影響ガ大デアリ、將來ノ司法制度運行
ノ上ニ懸念セラレル點ヲ生ズル虞ナシト御
言明ナサルデゴザイマセウカ、此ノ點承ツ
○大森政府委員 御説ノ通りニ三審制度ガ
司法制度ノ中最モ根本的ノモノデアリ、其
ノツデアリマスコトハ私共徹頭徹尾御同
感デアリマス、而モ其ノ三審制度ノツデハ
特殊ナ事件ニ限ツテデハアリマスケレ
ドモ、省略セザルヲ得ザル理由ニ付テハ、既
ニ申述ベタ所デアリマシテ、之ヲ反復致シ
マスコトハ御遠慮申上ゲマス、而シテ斯カ
ル案ヲ以テ臨ミマシテ、司法ノ伽藍ノ動搖
ヲ來スコトナキ確信アリヤ否ヤ、斯ウ云フ
御趣旨ノ御質問ト拜承致シタノデアリマス
ガ、勿論斯様ナ案ヲ以テ臨ミマス以上、吾
吾ニ十分ノ覺悟ト用意トハアル積リデアリ
マス、即チ其ノ運用ニ付テ國民ニ對スル不

安、之ヲ最モ努メテ避ケナケレバナラヌノ
マス、固ヨリ望マシカラザルコトデハアリ
マス、左様ナ御指摘ノヤウナ遺憾ノ點ノ生ジナ
ハ、左様ナ御指摘ノヤウナ遺憾ノ點ノ生ジナ
レヤウニ、吾々ハ懸命ノ努力ヲ以テ之ニ當
ル積リデアリマス、此ノ覺悟ダケハ茲ニ明
白ニ申述べテ置ク次第デアリマス
○佐竹委員 今日ノ實情ヲ見マスノニ、國
家ノ權力ハ甚ダ大デアリマシテ、國民ノ國
家ヨリ與ヘラレタル權利ハ、法律上、事實
上事ニ制壓セラレ勝デアルト云フコトハ
贅言ヲ要シマセヌ、所謂官權萬能、所謂人
權萎縮ノ時代デゴザイマス、是ハ戰時下當
期シ得ラレナイ、斯ウ云フコトヲ信念的ニ
考ヘル者ノ多數ニゴザイマスコトハ、是亦
必至ノ傾向デアラウト存ジマス、此ノ空氣
ハ法曹ノ間ニモ色々々形トナツテ現ハレテ
居リマス、或ル現職判事ハ、經濟事犯ハ國
賊ナリト題シテ新聞紙上ニ論文ヲ公表致
シ、十把一束ニ嚴罰ニ處スベシト云フ趣旨
ヲ述べマシタ、是ハ昨年ノ刑法改正委員會
ノ時ニ於テモ私縷、申述ヘテ居ル通リデア
リマス、斯ノ如キ空氣ニ支配セラレタコト
デゴザイマセウ或ル辯護士會ノ如キハ、經濟
事犯ニハ辯護シナイト云フ決議フ致シテ居
ルコトヲ新聞紙上ニ散見致シマシタ、一般
ノ案件ニ付テ之ヲ考ヘマシテモ、或ル判事
ノ如キハ控訴スルト保釋ハ絕對ニ許サナ
イ、或ル檢事ハ判決言渡シノ後ニ被告ヲ檢
事局へ呼び付ケマシテ、控訴スルナト申
付ケマシタ、又上訴スルト被告ノ有利ナヤ
ウニ變更セラレル虞ナアル案件ニ付テハ、
決マツタヤウニ檢事ノ附帶控訴ヲシテ居リ

マス、是等ノ人々ノ考ヘ方ハ一脈相通ジテ
マスケレドモ、即チ其實行ニ相成リマシタ上
ハ、左様ナ御指摘ノヤウナ遺憾ノ點ノ生ジナ
一審判決ヲ受ケタ以上、ソレデ十分デハナ
イカ、ソレニ控訴シテ更ニ厄介ヲ掛ケルナ
ド怪シカラヌ、或ハ又惡事ヲ勵イテ、尙ホ
辯護士ヲ附ケテ辯解ヲシヨウト云フガ如キ
ハ以テノ外デアル、斯ウ云フ考ヘ方ガ一ツ
ノ流レトナツテ現ハレテ居リマスコトハ、
否定スルコトノ出來ナイ事實デアリマス、
此ノ現實ノ社會情勢下ニ於テ、之ヲ事實審
ヲ一審ニ止メ、或ハ辯護人ヲ制限スルト云
フガ如キ、之ヲ法文化スルニ至リマシテハ、
ソレ見ヨ、自分達ノ考ヘテ居ルコトガ法制
化シタデハナ、イカト云フコトヲ明白ニ天下
ニ公表スルガ如キ事態ヲ慈々醸スデハナイ
カト私共ハ思フ、斯クテハ最後ノ人權擁護
ノ府ガ人權制壓ノ府トナリ、本來ノ司法精
神ハ根柢ヨリ動搖シ、國民ヲシテ據リ所ヲ
失ハシタルニ至ル虞ナシト誰ガ保障致シマ
セウカ、政府當局ト致シマシテ、斯クノ如
キ實情ガナニ、斯クノ如キ心配ハ絕對ニナ
イト仰シヤルデアリマセウカ、政府ノ御所
見ヲ伺ヒマス

○大森政府委員 只今御指摘ニ相成リマシ
タヤウナ權力萬能ト申シマスルカ、權力濫
用ト申シマスルカ、左様ナ考ヘノ下ニ此ノ
立案ヲシタノデナイト云フコトハ茲ニ明白
ニ申上げテ置キマスルシ、又特ニ辯明ヲ求
メラレルマデモナク、ソレハ御信用ヲ下サ
ルコト存ジテ居リマス、尙ホ今御引用ニ
ナリマシタ某判事、某檢事ノ實例ニ付キマ
シテハ、私共實ハマダ耳ニシテ居ナイノデ
アリマシテ、左様ナ實例ガアリマスルナラ
バ、院外デ結構デアリマスカラ、御通知ヲ
願ヒタイト存ジマス、私共早速其ノ事實ノ
調査ニ當リタイト思フノデアリマシテ、左
様ナ事實ハ十分ニ之ヲ吾々ニ御披露願ヒタ
イト存ズル次第デアリマス
○佐竹委員 近時所謂官權ノ増強ニ伴ヒマ
シテ、所謂人權ガ輕ク扱ハレテ居ルト云フ
實情ハ、是ハ否定スルコトガ出來ナイト私
ハ考ヘマス、最近警察等ガ民事問題ニ付テ
マデ容喙シテ參リマス實情ハ、其ノ例枚舉
ニ追ガゴザイマセヌ、或ル者ガ貸金取立ニ
付テ警察ヘ相談ニ行ツタ所、經濟係ノ巡査
ガ債務者ヲ呼シテ、オ前ハ最初カラ拂フ考
ヘナカツタラウ、詐欺ダト言ツテ調べタコ
トガアル、又或ル者ガ大阪遞信局工務出張所
ノ某吏員ニ對スル家屋明渡ノ件ニ付キ警察ヘ
願出タ所、經濟事犯係ガ呼出シテ、明渡ヲシ
ロ、何カソコニ文句ヲ付ケマシテ、之ヲ豚箱
ニ叩キ込ミ翌日郵便局モ騒イダ、私共モ知
合ノ關係デ行ツテ、翌日出サレタノデアリ
マス、斯ウ云ツタ例ハ澤山ニアル、或ル警
察署デハ全ク私共民事ノ事件ト信ジテ居ツ
タノデアリマスガ、之ヲ檢舉シタ、此ノ被
告ハ單ナル民事問題デアルト言ツテ極力辯
疏致シマシタ、スルト之ヲ豚箱ヘ拋リ込
ダ、ケレドモ被告ハ、是ハ普通ノ取引デゴ
ザイマスト言ツテ、極力辯疏シタ、スルト
宜シ、デハオ前ノ身邊ヲ洗ヒ去ツテヤラウ
ト言ツテ、徹底的ニ取調ヲ致シマシタ結果、
茲ニ五ツ六ツノ嫌疑ヲ持出シマシタ、遂ニ
其ノ中ノ五ツヲ捉ヘテ檢事局ニ送リマシ
タ、私ハ依頼サレテ檢事局ニ出頭致シマシ
テ、書類其ノ他ニ依ツテ、ソレガ普通ノ民

事問題ナル所以ヲ御説明致シマシタ、檢事

ヲ申請致シマシタ、スルト第一審裁判所ハ
三回、四回ト公判ヲ重ネマシテ、慎重ナル
取調ヲ進メテ參リマスルニ連レテ、無罪ト
ナル外ナイコトニナツタ、スルト檢事ハ公
判ノ停止ト續行ヲ求メタ、サウシテ公判裁
判所デ調ベマシタ關係人ヲ全部檢事が再び
調べ直シマシタ、サウンテ公判デ調べタト
異ナル調書ヲ作ツテ、其ノ公判調書ノ後ヘ
編綴サレマシタ——是モ今大審院へ來テ居
ル筈アリマス——スルト第一審裁判所
ハ、公判デ三回モ、四回モ調べテ無罪ニス
ルヨリ外ナイト云フ空氣ニナツテ居リマシ
タケレドモ、其ノ後ニ其ノ公判調書ヲ否定
スル所ノ警察竝ニ檢事調書ガ出來テ綴ラレ
タモノダカラ、流石ニ最初御自分で調べマ
シタ公判調書ヲ採證スルコトガ出來ナクナ
ツタ、併シ後デ綴ラレマシタ證據ト云フモ
ノモ、積極的ニ前ノ公判ニ於テ述ベタコト
ガ偽證デアルト云フコトヲ明カニスルコト
ガ出來ナカツタ爲ニ偽證トシテ請求スルコト
ハ出來ナカツタ、調書ニハ偽證ノ嫌疑アルヲ
以テ續行ヲ求ムトアリマシタケレドモ、一人
トシテ偽證ヲ出スコトガ出來ナカツタ、然レ
ドモ其ノ各關係人ノ公判デノ供述ノ内容ハ
抹殺サレルニ十分ナル調書ガ作ラレタ、是
ガ公判調書ノ後ニ編綴サレタ、ソコデ、最後
ニタツタ一人、極メテ突飛的ナ一人ノ證人
ヲ呼ビマシテ、ソレヲ公判デ調べテ、公判裁
判所ハ其ノ最後ニタツタ一人、而モ意外ナ
突飛的ニ出テ參リマシタ證人ノ證言ヲ採ツ
テ有罪ニ致シマシタ、所ガ是ハ控訴シタ、控
訴シマスルト、忽チニ致シマシテ其ノ最後ノ
一人ノ證言ガ虚偽デアルト云フコトガ直チ
ニ分ツタ、是ガ若シ大審院等ニ之ヲ上告致

シマセウモノナラバ、是ハ證據認定ニ關スルコトデアツテ、其ノ專權ニ屬スルコトニ
却下致シマセウガ、幸ヒニ致シマシテ控訴
ガ許サレテ居リマス爲ニ、其ノ控訴審ニ於
テ其ノ虛偽ナル所以ガ明カニサレマシテ、
ソレガ採證サレズニ濟ミマシタ、併シサウ
スルト最初カラ證據ガナイヤウニナツテシ
マフノデ、ズツト元ヘ遡ツテ、元ノ警察署
ノ調書ヲ採ツテ有罪ノ言渡ヲシタ、是ハ餘
リ不當デアリマスノデ、遂ニ上告トナツク、
斯ウ云ツタヤウナ例ハ洵ニ枚舉ニ追ガアリ
マセヌ、一審ノ單獨判事ハ周圍ノ力ニ動カ
サレル虞ガ地方裁判所ノ三人判事ニ比シテ
大デアル、是ハ否定スルコトノ出來ナイ事
實デアル、又生々シキ警察ノ強制取調ノ結
果ヨリ受クル印象ヲ強ク感ブルト云フコト
モ、是亦否定スルコトガ出來マセヌ、不法
不當ノ取調ノ結果ニ幻惑セラレ易イノデア
リマス、之ニ對處スルノニハ控訴ヲ許スヨ
リ外ニハナイノデアリマス、殊ニ私ガ先程
來縷々申上ガマスルヤウナ社會情勢下ニ於
テ、只今申上ガマシタヤウナ實例ノ下ニ於
テ、恐ラク斯ウ云ツタヤウナ例ハ全國到ル
處枚舉ニ追ノアル、マイト思フ程、ソレハ決
シテ少イ件數デハナイ、サウ云フ危險ガ全
般的ニ瀰漫ヲ致シテ居リマスル今日、斯ク
ノ如キ非ヲ正スト云フ途ガ塞ガレルニ至リ
マスルナラバ、其ノ影響ハ實ニ深刻ナルモ
ノガアルト私ハ言ハザルヲ得ナイノデアリ
マス、然ルニ茲ニ其ノ控訴ノ途ヲ塞イデ民
心ニ不安ヲ與フルコト、實ニ甚大ナルモノ
訴審ノ制度ヲ廢止シナケレバナラスト御考

ヘニナルカ、私共ハ敢テ反對スル爲デハア
状態アリト致シマスルナラバ、懇切ニ御説
明ヲ願ヒマシテ、國民ヲシテ安ンジテ法ニ
據リ得ル所ノ、其ノ根據ヲ御與ヘ戴キマス
コトガ極メテ肝腎デアル、此ノ意味ニ於キ
マシテ、敢テ私ハ警察、檢察ヲ彈劾シ、或
ハ制度ニ非難ヲ申上ガルノ趣旨デハゴザイ
マセヌ、國民ニ對シテ政府ノ考へ方ハ是レ
是レデアル、斯ウ言ツテ居ルガ、サウ云フ
コトハ絶對ニ將來ハナイト云フ安心ヲ御與
ヘ戴クコトガ出來ルナラバ、私ハ之ニ越シ
タコトハナイト存ジマス、敢テ御尋ネヲ申
上げマス

黒ニキマシテ不敏テハアリ、アリレ
ドモ、懸命ノ努力ヲ以テ萬遺漏ナキヲ期シ
タイ積リデアリマス、即チ斯様ナ案ヲ以テ
臨ミマスル以上、第一審ヲ十分ニスルト云
フ確信ナカルベカラザルモノデアリマシ、
私共ハ誓ツテ其ノ點ニ付テ十分ノ努力ヲシ
タイト存ジテ居リマス、サウシテ御承知ノ
通り我が國ノ上告ニ於キマシテハ、幸ヒニ
アリマスルガ、民事訴訟法ニ於キマシテハ、
刑事訴訟法ニ於キマシテハ、事實ノ著シキ
誤認、刑ノ甚ダシキ量定ヲ上告ノ原因トシ
テ含ンデ居リマスシ、是亦屢々申上ダタ所デ
反スル事實ノ誤認ト云フコトヲ廣ク認メテ
殆ド裁判上ノ慣例ト致シマシテ、證據法ニ
居リマスカラ、是等ノ權限ヲ包括致シマシ
タ上告審ヲ殘シテ置キマスルナラバ、成程
上告審ノ省略セラレナイ以前ヨリハ甚ダ省
略ニナルノデアリマスカラ、工合ガ惡イト
云フ點モ固ヨリアリマセウケレドモ、兎ニ
角此ノ案ニ付キマシテ、右申シマスヤウナ
努力ヲ以テ進ミマスルナラバ、ドウニカ國
民ノ不安ハ避ケラレハシナイカ、斯ウ云フ
積リデ私共覺悟ヲ致シテ居ル次第デアリマ
ス

シテ、其ノ審級自體丁寧ヲ期シヨウト致シ
マシテモ、ソレハ出來ヌト云フノガ第一審
本來ノ姿デアリマス、隨テ如何ニ老練ノ判
検事ヲ持ツテ參リマセウトモ、此ノ幅湊相
踵グ種々雜多ナ事件ヲ一々慎重ニ取扱ツテ
ハ居ラレマセヌ、社長サンニハ社長サンノ
任務ガアリ、小使ニハ小使ノ任務ガアル、
社長サンハ傲然ト椅子ニ坐ツテ慎重ニモノ
ヲ考ヘテ居ラレマセウケレドモ、小使サン
ハ細々シク立働くテ居ラナケレバナラヌ、
其ノ社長サンニ小使ノ役目ヲサセルナラ
バ、ヤハリ小使ノ役目ヲスルヨリ外ニハゴ
ザイマセス、胃ハ胃ノ働キガアリ、腸ハ腸
ノ働キガアリマス、一審ハ種々雜多ナ事件
ガゴチャヤ／＼シテ居ルノデ、ソレヲケバ／＼
シク捌イテ、大難把ニヤツテ行ク、サウシ
テ其ノ中ノ幾ラカガ上訴トナツテ、慎重ヲ期
シテ審理セラレル、各ゾレヲ分擔スル所ニ
妙味ガアルノデアマシテ、如何ニ老練ナ
判検事ヲ一審ニ廻ハシタカラト云ツテ、本
來與ヘラレタ仕事ソレ自體ガ種々雜多デ幅
湊シテ居リマス時ニ、ソレハ慎重ヲ期セヨ
ト言ツテモ、ソレハ無理デアリマス、其ノ
慎重ヲ期シ得ラレル今日ノ制度ヲ置イテア
ルコトソレ自體ガ、司法制度ノ重ミノアル
所デアリマシテ、此處ニ國民ノ安全瓣ガア
ルト存ジマス、警察ガ豚箱ニ之ヲ投ズル、
不法ノ拘束ヲ受ケテ憤死ヲ企圖致シマシタ
之ヲ抑ヘ難ク吾々ニ憇ヘ出タ者モアル、遂
ニ國家制度ヲサヘ怨ム者モ時ニ生ジマスル
コトハ、是ハ否定スルコトガ出來ナイ事實
デアル、所ガ審ヲ重ネマシテ鄭重ナル取調

家ガ斯クマデシテ國民ノ言ハント欲スル所ヲ聽イテ下サルカト思フ時ニ、ソニニハ自ラ頭ノ下ルモノガアリマス、天皇ノ御名ノエヤラヌ間ニ、急速ニシテ鄭重ヲ期スルヲ至ルノデアリマス、ソレヲ若シ警察竝ニ検事ノ峻烈ナル取調ノ後、其ノ氣分ノ尙ホ消出來ナイ事態ニ、陷ツタト致シマシタナラバ、是ハ重大ナル結果ヲ齎ラス虞ナシト誰カ保障致シマセウ、ソレハ啻ニ被告人一個ノ問題デハアリマセヌ、被告人ハ家族モアレバ親戚モアリマス、是等ノ人々ノ中ニハ命ヲ賭シテ戰ツテ居ル勇士モアリマセウ、被告人ヲ早ク片付ケタト云フコトニ依ツテ收マル問題デハアリマセヌ、其ノ及ブ影響ハ實ニ甚大デアルト言ハナケレバナリマセヌ、司法權ガ慎重デアリ、且ツ寧ロ鈍重デモナカリシ程、又他ニ適當ナル對策ヲ見付ケ得ナイ程、本提案ハ實ニ已ムヲ得ナカツカ、斯ウシタ重大ナル影響ヲ顧慮スル遑アルト言ハル所ニ、サウ云フ審級ノ存スル所ニ、實ニ司法權ノ尊嚴ガアルノデハナカツカ、斯ウシタ重大ナル影響ヲ顧慮スル遑モナカリシ程、又他ニ適當ナル對策ヲ見付ケ得ナイ程、本提案ハ實ニ已ムヲ得ナカツカ、アルト云フ點ニ付テハ、私共贅意ヲ表シ兼テ十分悅服スルニ足ルダケノ御懇切ナル御説明ヲ承ツテ置キタイト存ジマス〇大森政府委員　御言葉ヲ返スヤウデ甚ダ恐縮デアリマスガ、第一審ノ裁判所ハ、必然的ニ當然ニ慎重ニ裁判ノ出來ナイモノデタルモノト申サレマスカ、是ハ尙ホ國民ヲシテヤウニ、各種雜多ナ事件ヲゴチヤ／＼トアルト云フ點ニ付テハ、私共贅意ヲ表シ兼ネルノデアリマス、成程御言葉ニアリマシテ、大森政府委員　御言葉ヲ返スヤウデ甚ダ恐縮デアリマスガ、第一審ノ裁判所ハ、必然的ニ當然ニ慎重ニ裁判ノ出來ナイモノデタルモノト申サレマスカ、是ハ尙ホ國民ヲシテヤウニ、各種雜多ナ事件ヲゴチヤ／＼トアルト云フ點ニ付テハ、私共贅意ヲ表シ兼

トニナリマヌラテハ是ノ實際ニ於テ夢ヒ情重ヲ期スルコトガ出来ナイデアリマセウ、併シソレハ雜多ナ事件ヲ一緒ニゴチヤ／＼ト裁カナケレバナラナイヤウニスル制度自身ガ惡イノデアリマシテ、即チ人員ノ配置其ノモノガ惡イノデアリマシテ、區裁判所ニ致シマシテモ、又地方裁判所ニ致シマシテモ、第一審ニソレム、相當必要ナル人員ヲ配置シマスレバ、其ノ弊ヲ矯メルコトハ出來ルト存ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ第一審ナルガ故ニ必ずヤ粗雜ニアルト云フコトニ付テハ、私共ハ寧ロ反對ノ見解ヲ持ツテ居リマス、併シ斯様ナ案デ臨ミマス以上、第一審ヲ慎重ナルガ上ニニ慎重ニシナケレバナラナイト云フコトハ、是非ハ私共屢々申述べテ居ルノデアリマシテ、此ノ私共ノ衷情ダケハ御酌取ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ屢々申シマシタ通りニ、此ノ控訴審省略ハ決シテ吾々望マネイノデアリマスケレドモ、今日此ノ現状ニ於テ爾カゼザルヲ得ナクナツタノデアリツテ、他ニ適當ノ策ガナカツタト云フコト、是亦屢々申述べタ所デアリマシテ、此ノ點モ十分ニ御諒察ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

Digitized by srujanika@gmail.com

ソソナニ司法制度ノ根本問題ニ影響スルノ
デハナイカト惧ルルヤウナ改正ヲ、敢テシ
ナケレバナラヌ必要ハナイデハナイカト存
ジマス、畢竟スルニ人員ノ問題ニ歸シマス
ガ、其ノ人員ノ問題ヲ解決スルノ途ガナク、
茲ニ制度ヲ改正ヲ行ハナケレバナラナカツ
タト云フコトニ結局歸着ヲ致シマス是ニ於
テ私ハ多大ノ疑問ヲ持タザルヲ得マセヌ、
是ハ先程池田委員カラモ御尋ネガアリマシ
タガ、ドウシテ豫算ガ取レナカツタノデア
ラウカ、ドウシテ増員ガ出來ナカツタノデ
アラウカ、ソレサヘ出來レバ敢テ司法制度
ノ屋臺骨ヲ動カスヤウナ改正ハ、必要ナカ
ツタノデハナイカト云フ點デアリマス、申
スマデモナク大東亞戰爭ハ、日本ノ劃期的
飛躍デアリマス、司法制度モ亦劃期的飛躍
ヲ試ムベキ時デアリマス、此ノ時機ニ當リ
マシテ司法制度ハ萎縮ノ狀態ニアリマス、
發展ノ爲ノ豫算ヲ取り得ズ、増員亦不能デ
アツテ、自ラ我ト我が制度ノ一部ヲ犠牲ニ
致シマシテ、戰時對應策ヲ立テヨウト致シ
テ居リマス、戰時下凡ユル不自由ヲ忍バナ
ケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマス、
併シ豫算ハ厖大ナル數字ヲ示シテ居リマシ
テ、公債發行モ亦ソレニ伴ツテ激増致シテ
居リマス、之ニ依ツテ躍進ヲ遂ゲテ居リマ
スシ、各省各局トモ其ノ必要ナルモノハ、
ドシニ～之ヲ要求シテ居リマス、而シテ其
ノ躍進ニ伴フ人員ト物資ハ、各省各局トモ
之ヲ獲得致シマシテ躍進ニ備ヘテ居リマス
大ナル三審制度マデニ鱗ガ入ルノデハナイ
此ノ躍進期ニ於テ獨リ司法部ノミガ萎縮政
カト惧ルルヤウナ事態ヲ、敢テ忍バナケレ

ル所ニ依リマスト、バナラスト云フコトハ何デアルカ、先程承情モ承リマシタ、又打明話ニ依リマスレバ、人ヲ得ラレナイト云フ切實ナ状態ニアルコトハ了承致シマス、併シナガラソレハ總テ現状ヲ基本トシテノ御意見デハアルマイカト私ハ拜察ヲ致シマス、飛躍ニ備ヘル爲ノ躍進的御考ヘノ結果デアルカドウカト云フコトニ付テハ、尙ホ私ハ承フナケレバナラスト存ジマス、辯護士カラ人ヲ得ルノモ、又書記ヲ採用スルニシテモ、之ヲ得難イト致シマスレバ、其ノ得難イコトヲ突破シテ、ソレヲ得ルダケノ積極政策方此ノ戰時下ニアルベキデハナイカ、ソレデナケレバ飛躍日本ノ司法部トシテノ躍進ヲ遂ゲルコトハ困難デハナイカ、内閣ハナゼ司法部ヲソンナニ繼子扱ヒニスルノカ、私共司法部ニ關係ヲシテ居リマス一人ト致シマシテ、一種ノ義憲ヲ感ゼザルヲ得ナイ、人ノ問題ニシテモ、或ハ金ノ問題ニシテモ、雷ニ司法省ノ問題ノミデハナク、各省各局トモ惱シ居ル問題難關突破ニ邁進致シテ居リマス、司法省モデアツテ、而モ各省各局トモ萎縮スルコトナク、生成發展、躍動致シテ居リマス、人物ハ之ヲ求メ、物資ハ又之ヲ求メテ、其ノ思フ、司法省ハ必ズ其ノ對策ヲ練ラレタニ亦古今未會有ノ躍進ニ際シマシテ、其ノ躍進ニ備フル發展の對策ガアルベキダト私ハ如何ナル事由ニ依ツテ之ヲ蹴ラレタカ、何故ニ此ノ法案ヲ出スノ餘儀ナキニ至ツタカズンバ、私共ハ十分之ヲ納得スルコトガ出来ナイ——今判檢事ニ付テ、一人平均俸給

相當多ク私ハ見積リマシタ、三千五百圓ヨ
要スルモノトシ、七十人ヲ増員致シマスルヲ
ラバ二十四万五千圓、書記一人平均七十圓
ト見マシテ、四百五名三十四万圓デアリマス
ス、合計五十八万圓アレバ、此ノ不足ヲ
フニ足ルノデアリマス、更ニ百万圓モアレ
バ百四、五十人ヲ雇ヒ得ル、二百万圓アレバ
三百人近ク採用スルコトガ出來ルノデアリ
マス、是ダケノ費用ヲ投ズレバ、是ハ亦非
常ナ優遇デアリマス、是ダケノ優遇ヲシテ
參リマスルナラバ、人ノ寄ツテ來ナイ譯哉
ナ、若シ更ニ四百万圓、五百万圓ヲ投ジ
マスレバ、斷ジテ司法省ノ希望スル人員ヲ
求メ得ラレナイ筈ガナイト私ハ思ヒマス、
要ハ待遇ノ問題ニ歸着スル、待遇ノ問題ニ
歸着スルト致シマスレバ、其ノ費用ノ四、
五百万圓ガ問題ダト云フコトニ結論サレマ
ス、其ノ費用ノ爲ニ、其ノ四、五百万圓ノ
爲ニ、司法制度ノ根本ニ動搖ヲ來スガ如キ
結果ヲ招來スル虞ヲ釀スト云フコトハ遺憾
事デハナカラウカ、法規ニ依ツテ成立シタ
モノデゴザイマセヌ、大政翼賛會ニ於キ
シテハ、八百万圓ノ補助ヲ得テ居リマス、
更ニ之ヲ一千二百萬圓ニ増額スル有様デア
リマス、此ノ法的根據ナキ公事結社ニ付シ
補助金ヲ出ス所ノ餘力ノアリマスル國家ガ、
此ノ司法部ノ重大問題ニ對シテ四百万圓、
五百万圓ヲ與ヘテ、以テ三審制度ヲ堅持ス
ルコトガドウシテ出來ナカツタデアラウ
カ、私ハ其ノ内容ニ立入ツテ十分御懇篤
ル説明ヲ承ルニアラズンバ、國民ハ納得シ
ルコトハ出來ナイノデハナイカト存ジマ
ス、重ネテ御伺ヒ致シマス

ル趣旨ニ承ツタノデアリマス、成程私共モ手サヘアレバ、斯様ナ法案ヲ出ス必要ハ毛尤モノ仰セデアリマスケレドモ、金ノ問題モアルシ、今日戰時ニ於テ手ガナイノデアリマス、然ラバ何故金ヲ取ラナカツタカ、御モアルシ、此ノ國運興隆ノ際ニ處シテ飛躍ノ趣旨ハナイノカ、其ノ積リハナイノカ、斯ウ云フ御趣旨デアリマシタガ、之ニ付テハ飛躍ノ積リナシトハ決シテ申サナイノデアリマス、適當ノ時期ニ雄大ナル理想ヲ確立シタイト云フコトハ、此ノ前モ申述ベタノデアリマス、唯何トシテモ此ノ際人ガ得ラレナイ、人ガナイ、此ノ實情ヲ前會來申述ベテ居ル次第デアリマス○佐竹委員 私ハ洵ニ殘念ニ思ヒマスガ、ドウモ何時出來マス内閣モ、司法部ニ對スル所ノ本當ノ理解ト云フモノガ甚ダ少イト思フ、司法ニ關係ヲ致シマス私共ト致シマシテモ、先程ヨリ申上ガマスル一種ノ義憤ヲ感ゼザルヲ得ナイ實情デアリマス、私ハ決シテ司法ノ最高部ノ人々ガ、其ノ豫算ヲ取り得ナカツタデハナイカナゾ、何カ非難デモ申上ゲルヤウニ聞エマスナラバ、甚ダ是ハ當ヲ得ナイモノデアリマシテ、決シテサウ云フ積リデハアリマセヌ、私ハ在野ノ者モ茲ニ力ヲ合セマシテ、今少シ司法部ノ充實ヲナシ、以テ將來ニ備ヘ、サウシテ此ノ三審制度ニマデモ矯拂ガ入ルヤウナ事態ハ、何トカシテ之ヲ排除シナケレバナラスト云フ熱意ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、十分ニ御諒承フ願ヒマシテ、今後ノ飛躍發展ノ

爲ニ最善ノ努力ヲ盡サレンコトヲ私ハ切望
上申ゲマス
私ハ尙ホ項目ダケ舉ゲマシテ、一、三點
バカリ御尋ネラ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ
終リタイト思ヒマス
書類ノ謄寫及ビ裁判書ノ謄本、抄本ノ交付
ニ付テ許可制ヲ採ラレマシタ、御説明ニ依
リマスレバ、機密ニ涉ル事件、或ハ公益上
ノ必要等デ許可シナイコトガアル、是ハ已
ムヲ得ス、斯ウ云フ御説明デアリマスガ、
若シサウナリマスト云フト、機密ニ涉リマ
ス事件、公益上必要デアリマスル事件ニ付
テハ、書類ノ謄寫ガ絶對出來マセヌ、裁判
書ヲ受クルコトが出來ナイト致シマスナラ
バ、サウ云ツタ意味ノ事件ニ付テハ、控訴
上告ヲ絶對ニ禁止ヲシタト同一ノ結果ニ相
成リマスガ、之ニ對シマスル何等カノ救濟
策ハナイデゴザイマセウカ
○池田(克)政府委員 二十二條ノ趣旨ト致
シマスル所ハ、機密ノ保持其ノ他公益上ノ
理由ガアリマシタ場合ニ於テ、已ムヲ得ズ
交付セザルコトヲ得ル權限ヲ、裁判所ニ認
メテ居ルノデアリマシテ、實際上ノ運用ニ
於キマシテハ、ドウシテモ交付シナイコト
ガ相當ダト認メラレマス場合ガ、相當ニ少
イデヤナイカト思ヒマスルノト、更ニ又ド
ウシテモ交付スルコトが出來ナイト云フヤ
ウナ場合ニ於キマシテハ、困ヨリ訴訟ニ關
シマスル書類ハ閱覽スルコトが出來ルノデ
ゴザイマスノデ、左様ナ方法ニ依リマシテ、
又上訴スル、サウ云フヤウナ途ニ付テハ事
缺クル所ガナイノデハナイカト、斯様ニ考
ヘテ居ル次第アリマス
○佐竹委員 成程閲覽ガ許可ナクシテ出来
ルヤウデアリマス、然ラバ閲覽ヲ致シマシテ

○池田(克)政府委員 左様ナ場合ハ恐ラク
謄寫ニ當ルマイト考ヘテ居リマス
○佐竹委員 當ルマイト思フ程度デハ非常
ニ不安デゴザイマスノデ、若シソレナドガ
所謂謄寫ニ當ルト云フコトニナリマスルト、
斯ウ云ツタ案件ハ裁判書キモ内客モ一切記
記ヲシテ居ルコトハ出來マセヌ、證據ノ引
用等モ、其ノ他ノ引用等モ分リマセヌカラ、
上告シヨウニモドウニモナラナクナツデ參
リマス、是ハ事實上控訴及ビ上告ヲ禁止ス
ルニ等シイ結果ニナリマスノデ、確信ノア
ル言明ヲ御願ヒ致シテ置キタイト思ヒマス
○池田(克)政府委員 左様ナ場合ニ於キマ
シテハ、裁判所ニ於テ許可シヨウカト考ヘ
マス、隨ヒマシテ實際ノ場合ニ於キマシテ、
非常ナ支障ガアルト云フ風ナコトハ、萬々
ナイダラウト云フコトヲ私共ハ信ズル次第
デゴザイマス

○佐竹委員 控訴上告ノ爲ニ必要デアルカ
ラ、ソレハ許スト云フコトニナリマスルト、
ソレハ絶對ニ禁止ノ規定ガ用ヲナサナイコ
トニ相成ルノデゴザイマセウ、敢テ語ヲ重
ネルコトヲ省略致シマシテ、次ニ辯護人選
任ノ期間デアリマスガ、最近區裁判所ノ案
件ハ、本日起訴サレテ參リマスト勾留訊問
ヲヤリマス、翌日公判ヲヤツテピシツト終結
シテシマフ、ソレガ非常ニ多イノデアリマス、
ソコデ其ノコトガ新聞ヘ出マス、翌々日アタ
リ私共飛込ンデ参リマスルト、イヤソレハ
ケット」ニ入レテ取ツテ歸リマシタナラバ、
致シマシテ、全文ヲ私ガ日記帳ヘ書イテ「ボ
範圍デゴザイマセウカ、又其ノ範圍ヲ擴大
是ハ許可ノ違反トナルデアリマセウカ

マシテ、ヤツト控訴審デ取戻スト云フ例ハ、ソコデ控訴ヲ致
實ニ多々アルノデゴザイマス、最近ハ司法
省ノ御達シニ依リマシテ、事件ノ急速處理
ト云フコトニ付テ最善ノ努力ヲ拂ツテ居
ル、今日勾留訊問ヲヤツテ明日直チニ公判ヲ
開イテ居ル、而モサウ云フヤウナ判事ノ成
績ハ良イモノトシテ、榮進スルノ途ガ開ケテ居
リマスル方々ト言ハレテ居ル狀態デアリ
マス、斯ウ云フヤウニ一生懸命ヤラレマスト
はモウ辯護權モ何モアツタモノデハゴザ
イマセヌ、殊ニ之ニ持ツテ行ツテ控訴ヲ
サナイト云フコトニナリマスト、事實上辯
護權ノ剝奪デゴザイマス、之ニ對シマシテ
ハ或ハ被告ノ承諾ガナケレバ、辯護ノコトナド
ハ考ヘテ居ル暇ガゴザイマセヌ、是ハ私モ、檢事
延ベストカ何トカアリマセウケレドモ、控訴
ガ引ツ張ツテ來テ調べテ置イテ、直ゲ公判ヲ
開クト云フコトニナレバ、辯護ノコトナド
マシタ以上ハ、此ノ問題ハ極メテ重大ナ問題
トナツテ參ルト存ジマスノデ、將來ニ
スル對策ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス
○池田(克)政府委員 御意見ノ點御尤モト
考ヘマスノデ、幸ヒニ致シマシテ、本法案
ガ御協賛ヲ得マシテ、實施スル場合ニ於キ
マシテハ、司法當局ト致シマシテハ、熱意
ヲ以テ善處ヲ致シマシテ、左様ナ支障ノナ
イヤウニ進ミタイト考ヘテ居リマス
○佐竹委員 時間ガアリマセスカラ、今一
點ダケ御尋ネ致シマシテ終リト致シマス、
タル日ヨリ十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲
戦時刑事特別法案第二十條第二項ニ依リマス
スト「公判期日ニ係ル召喚狀ノ送達ヲ受ケ
タル日ヨリ十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲

○池田(克)政府委員　此ノ戰時刑事特別法案ノ第二十八條ノ四項ニ於キマシテ、上告審ノ手續ニ付キマシテハ、刑事訴訟法第四百二十一條ノ規定ヲ適用シナイト云フコトニナツテ居リマス
○佐竹委員　適用シナイト云フコトニナリマスト、ドウナリマセウ
○池田(克)政府委員　此ノ法案ニ於キマシテハ、民事訴訟ニ於キマスル上告手續ト同様ニナリマシテ、上告裁判所ニ原裁判所カラ検事局ヲ經過シマシテ記録ノ送付ガゴザイマスト、速カニ上告申立人ト對手人ニソレヲ通知スル、サウシテ上告申立人ハ其ノ通知ヲ受ケマシタ日カラ三十日内ニ、上告申書ヲ上告裁判所ニ差出ス、斯様ナコトニナツテ居リマシテ、上告裁判所ニ於キマシテハ、第二十九條ニ依リマシテ、是ハ例外デゴザイマスケレドモ、上告ノ理由ノアルコトガ一見明白ダト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、二十九條ノ手續ニ依リマシテ事實ノ審理ヲシナケレバナラヌ、口頭辯論ヲ開カナケレバナラヌト考ヘマス場合ニ、初メテ公判期日ヲ指定致シマシテ辯論サレル、斯様ナコトニナル譯デゴザイマス
○佐竹委員　ソレハ二十條ニハ召喚狀ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ、辯護人ヲ選任スルコトガ出来ルト云フコトニナツテ居ル、ソレ以上ハスルコトハ出来ヌ、大審院

デハ四百二十二条ヲ適用シナイト云フコトニナレバ尙更ノコトデアリマス、召喚ト云フノハ大審院デハ最初カラナイノデゴザイマス、サウスレバ大審院デハ召喚スルト云ハ別デアリマスガ、サウデナイ場合ハ召喚ト云フコトニナレバ、大審院ハ自由自在ニ勝手ニヤツテ宜シト云フコトニナリマセウカ、區裁判所、地方裁判所及び控訴院ニ於テ制限ヲ加ヘタノニ拘ラズ、大審院ハ何時デモ自由自在ニ辯護人ヲ付ケテモ宜シト云フ規定ヲ茲ニ設ケルト云フコトハ、私ハ甚ダ不可解デアルト思ヒマス

○池田(克)政府委員 御趣意分リマシタ、此ノ公判期日ノ指定サレマシタ場合ニ付キマシテハ、刑事訴訟法ノ四百五十五條ニ依リマシテ、第一審公判ノ規定方準用サレルノデゴザイマスカラ、第二十條ノ適用ヲ見ルコトニナル譯デゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○佐竹委員 不十分デハアリマスガ、時間ガゴザイマセヌカラ、私ハ此ノ程度デ終リマス

○野村委員長 一寸商工省ノ織維局長ガ來テ居ラレマスノデ、鹽川君カラ極ク簡単ニ質問シタイト云フコトデアリマスガ、此ノ際許スコトニ致シマス——鹽川君

○鹽川委員 私ハ商工大臣ノ御出席ヲ要求シテ居ツタノデアリマスガ、貴族院ニ行カレマシテ差支ヘガアルト云フコトデアリマスカラ、其ノ分ハ他日ニ譲リマシテ、只今織維局長ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、

商工省ノ關係ニ付キマシテ御尋ね致シタ
イト思ヒマス、先頃司法當局ヨリ御提出ニ
ナリマシタ参考書類ヲ見マスト、統制違反
デ起訴サレタ者ガ昭和十五年ニ五万一千三

○梶原政府委員 御答へ申上ゲマス、商工省ト致シマシテ特ニ纖維關係ニ於キマシテモ、生産部門ノ指導及び統制、之ヲ圓滑ニ且ツ十分ニヤツテ参リマス上ニ於テ、出来ル限り工業組合制度ヲ活用シテ今日ニ及ンデ居リマス、工業組合ト致シマシテモ統制ノ進ムニ連レマシテ、聯合形體ノ整備ヲ一面ニ於テ致シマスト共ニ、其ノ組合員ニ對シテシマシテモ、工業小組合ノ制度ヲ更ニ活用シテ行クト云フコトニ依ツテ、上ニ對シテモ亦下ニ對シマシテモ工業組合ノ機構ヲ十分ニスルト云フコトニ依ツテ、自治的ノ統制トソレニ基イタ行政官廳ノ統制ヲ、工業組合ノ制度ニ依ツテ融合セシメテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、唯全國的ノ機関ニ相成ツテ參リマスト、御承知ノヤウニ各地方ノ工業組合ガ、地方ノ聯合會ヲ以テ全國ノ工業組合聯合會ヲ結成シテ參リマス場合ニ於キマシテハ、事業ノ分量ノ關係トカラニ於キマシテハ、工業組合ト云フモノニ基色々ノ關係デ、ドウモ、工業組合ノ聯合會ノ制度デハ不十分デアルト云フコトガ間々アルノデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ、工業組合ト云フモノニ基シテ、ソレニ依ツテ會社ヲ作リマシテ、サウシテ事業ヲ運営シテ參ルト云フコトガス規模ハ、工業組合ト云フモノニ於テ參ツテ居ルノデアリマス、唯或ル部門ニ於キマデアリマス、併シナガラ生産部門ニ於キマシテハ、現在ノ工業組合ノ實情カラ致シマテ伺ヒタイト思ヒマス

ノ疑惑、非難ヲ招イテ居ルノガ、商工省所
管ニ於テ最モ多イノデアリマス、ソレ故ニ
私ハ其ノ疑惑ヲ一掃スル爲ニ質問ヲ致ス次
第デアリマス、茲ニ實例ヲ申上ゲマシテ御答
辯ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレハ印刷工業
組合、其ノ上ニ府縣ノ印刷工業組合聯合會、
其ノ上ニ本來ナラバ全國的ノ工業組合ノ聯
合會ガナツテ然ルベキデアリマス、然ルニ
其ノ組合ガ未ダ設立ニナツテ居ラヌ、是ハ
商工省ガ直チニ此ノ設立ヲ御計画ニナレバ
成立ヲスル譯デアリマス、然ルニ商工省當
局ト致シマシテハ、其ノ全國ノ聯合會ヲ作
ラズニ、之ヲ一、三ノ有力ナル印刷業者ト協
議ヲシテ、商工省ガ之ヲ支援シテ、サウシ
テ私的ノ何等法的ノ根據ノナイ團體ヲ作ラ
セテ、サウシテソレニ依ツテ物資ノ配給ヲ
ナサル、斯ウ云フヤウナ計畫ガアルヤウ
ニ傳ヘテ居ルノデアリマス、果シテサウ云
フ事實ガゴザイマスルカドウカ、御伺ヒシ
タイト思ヒマス

○ 鹽川委員 只今此ノ工業組合ニ依リ難シ、斯ウ云フ實情ガアルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フヤウナ實情ハ當業者ニ聽イテ見マスト少シモナイ、全ク商工省ノ人造纖維課ト云ヒマスカ、サウ云フ課ノ人ト印刷業者ノ一、二ノ者トガ相談ヲシテ作ツテ居ル、詰リ印刷界ノ權力ト云フモノヲ、此ノ團體ニ依ツテ壘斷ヲシヨウ、斯ウ云フ計畫ノ下ニヤツテ居ルト云フ話デアリマス、ソレニ對シテドウ御考ヘニナリマスカ
○ 梶原政府委員 印刷業界ノ極ク一部ノ者ノ意見ニ依ツテ、サウナツタト云フ風ニハ考ヘテ居フナインデアリマシテ、御承知ノヤウニ印刷業界ノ現状並ニ印刷工業組合ノ狀況ハ、相當複雜多岐デアリマシテ、色々ノ意見アリ、色々考ヘ方ガアルノデアリマス、隨テ印刷業界全體ノ意向ト云フ風ニハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、一つ別個ノ機構ヲ以テ進ンデ行キタイトト云フ考ヘモ、相當業界ニ強イヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、併シナガラは工業組合ノ制度ガ宜シクナシヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ相當印刷工業自體ガ整備サレテ行キマスナラバ、當然適當ノ團體ノ制度ガ出来ルモノ、又左様ニ吾々商工省トシテモ指

○鹽川委員 繖維局長ハ各府縣知事ニ向ツテ昨年ノ十二月二十何日カニ、印刷文化協會ノ支部ヲ設立スルヤウニト云フ御通牒ヲ出サレタヤウデアリマスガ、此ノ御通牒ハドウ云フ御趣旨デ御出シニナツテ居ルノカ、又其ノ結果ト致シマシテ、支部ガドウ云フ風ニ出来テ居リマスカ、府縣ノ話ヲ聞キマスト、此ノ印刷文化協會ヲ作ルト云フコトニハ反對ヲシテ居ルノデ、ヤハリ是ハ本來ノ工業組合ニ依ルベキモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居ル所ガ多イノデアリマス、其ノ邊ニ付テノ御答辯ヲ願ヒマス

○梶原政府委員 印刷文化協會ガ出來マシテ、縣ニ支部ヲ設置シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、地方廳ニ於テモ其ノ指導ヲスルヤウニト云フ通牒ヲ出シタ思ツテ居リマス、御承知ノヤウニ印刷工業ニハ一面ニ於テ文化的ノ要素ト申シマスカ、サウ云モノモ相當アラウカト存ジマス、又地方ニ於ケル工業組合ノ狀況ハ、御承知ノヤウニ同ジ印刷工業ノ業者ガ、澤山ノ工業組合ニ加入シテ居ルト云フ實情ノ所モアルノデアリマス、サウ云フ所ニ於テ、例へバ資材ノ調査ヲ假ニ行フト致シマシテモ、業者ガ重複シマスル關係上の確ノ調査ガ出來ナイト云フコトモ、統制ヲヤツテ行ク上ニ於テ非常ニ大キナ問題ナノデアリマス、サウ云フヤウナコトノナイヤウニト云フ趣旨デ、文化協會ノ支部ガ工業組合ナドト十分連絡ヲ取リマシテ、調査ヲシテ行クト云フコトハ極メテ必要デアリ、適當ノコトデハナカラウカト云フ趣旨デ通牒ヲ出シタノデアリ

○**鹽川委員** 政府委員ノ御答辯ヲ伺ツテ居
リマスト、甚ダ不満足デアリマス、何故ニ
既設ノ系統的ノ工業組合ヲ利用セズシテ、
新タニ文化協會ト云フヤウナモノヲ作ルト
云フヤウナ趣旨ニ付テハ、極メテ不明瞭デ
アリマス、商工省ノ所管事項ニ非常ナル疑
惑ヲ工業者ハ懷イテ居ルノデアリマス、ド
ウカサウ云フコトノナイヤウニ、明朗ニ當
業者ガ満足シテ業務ニ從事出來ルヤウニ御
願ヒ致シマス、モウ時間ヲ大分取リマシタ
カラ、私ハ是デ止メマス
○**古島委員** 私質問デアリマセヌガ、議事
進行デ一言委員長ニ申上げテ置キタイト思
ヒマス、御許シヲ願ヒタイ
○**野村委員長** 宜シウゴザイマス
○**古島委員** 此ノ委員會ハ私ノ崇敬致シマ
スル先輩ノ委員長ヲ戴キ、サウシテ委員ノ
方々モ皆法律家デアル、偶ニ法律家デナイ
人ガアリマシテモ、中々法律ニハ堪能ナ方々
デアリマス、政府委員ノ人達ハ大臣ヲ初ス
説明員ニ至ルマデ皆法律家デアル、此ノ委
員會位法律家ノ揃ツテ居ル委員會ハ恐ラク
アルマイト思フノデアリマス、ソコデ一言
一句ト云フモノヲ餘程注意ヲセネバナラヌ
ノデアリマスガ、特ニ委員長ノ本會議ニ於
ケル御報告ハ慎重ニヤツテ戴キタイト思フ
ノデアリマス、委員長ニ此ノ事ヲ申上げテ
ハ洵ニ失禮デアリマスガ、恐フクハ私ハ明
後日來ルコトガ出來ヌト思ヒマスノデ、此
ノ機會ニ其ノコトヲ言ハシテ戴キマス、實ニ
ハ各戸籍役場カラ私ノ所ヘ大分色々ナ手紙
ガ來テ居ルノデアリマス、ソレニハ委員長
ナ非難攻撃ヲスル向ガアルノデアリマス、

ニ於カレマシテモ稍々簡單ニ視タヤウナ傾キ
モアルノデアリマス、ソレハ報告ノ際ニ私
モ本會議デ承ツタノデアリマスガ、法律ヲ
取違ヘタヤウナ報告ヲナスツタノデス、是
ハサウデヤアリマスマイケレドモ、サウ云
フ風ニ速記録ニ載ツタノデアリマス、私ハ
アノ際ニ御注意申上ゲヨウトシタノデス
ガ、聽キ間違ヒカモ分ラスト思ヒマシテ速
記録ヲ見マスト、ヤハリサウ云フ風ナコ
トニナツデシマツタノデアリマス、ソレハ
御報告ノ中ニ斯ウ云フコトガアル「本件ノ
内容ハ、民法中私生子ノ名稱ヲ廢止スルコ
ト、之ニ牽聯スル條文ノ整理並ニ胎兒相
續權ヲ認メ、又認知ノ訴ヘハ父又ハ母ノ死
亡ノ日ヨリ三年トスル新タナル法規ヲ設ケ
タ等デアリマス」斯ウ言ヒマシテ、胎兒ニ
對スル相續權ヲ認メタト云フコトヲ力強く
仰セニナツタノデアリマス、是ガ全ク間違
ヒノ根本デアリマス、ソレナラバ法律ヲ改
正セヌデモ第八百六十八條ニチヤント書イ
テアツタノデ、ソンナモノヲ出シタノデス
カト言ツテ、苦情ヤラ異議ガマシイコトヲ
言ツテ來テ居ルノデアリマス、胎兒ノ相續
權ハ之ヲ新タニ認メタノデナイノデアリマ
ス、是ハ胎兒ガ今度外ト對立スルモノニア
ルカラ之ヲ認メタト云フコトノ御言葉ガ脫
ケテ居ツタコトト思フノデアリマス、コン
ナコトハ些細ナコトデアリマスケレドモ、
委員會ノ速記録ハ皆役場ヘ參リマセヌ、本
會議ノ速記録ハ官報ノ號外トシテ是ガ參リ
マスカラ、全國ノ市町村役場デハ之ヲ頼リ
ニ見マスノデ、非常ナ失望ヲ致シテ居ルヤ
ウナ時デアリマスカラ、殊ニ今度ハ多クノ
統制違反者等ニ警告スル意味合ヲ含ンデ居

ルヤウナ此ノ法律ノ時ニハ、餘程ココハ嚴重ニ、委員長ノ御言葉ヲ通ジテ、全國ノ違反者ガ絶滅スルト云フ位ノ氣魄ヲ以テ一ツニヤツテ戴キタイト云フコトヲ一言申上ゲ置キタイ

○野村委員長 一寸辯解スル譯ヂアリマセヌガ、胎兒ノコトハ、從來ハ相續人ノ死ニダ時ニハ、モウ胎兒ノ相續權ニ對シテハ相續權ガナイ、サウデナイ場合ハアル、併シ今度ノ場合ハ、相續人ガ死ンデシマツタ後ニ尙ホ胎兒ニ相續權ヲ認メル、是ガ從來ト違ツタ新シイ點デアル、斯ウ云フヤウナ意味ニ私ハ取ツテ居ツタカラ、サウ云フ風ニ要點ダケヲ摘ンデ報告シタ譯デス、其ノ方ノ議論ハ兎ニモ角ニモ、只今ノ御注意ハ有難ク御受ケシマシテ、今度本會議ニハ十
二分ニヤリマス

案ノ一番重點ノ喰マシイ點ダト云フコトヲ
痛感スルノデアリマス、然ルニ政府當局ノ
只今ノ佐竹委員ニ對シテノ御答辯ノ點ナド
ハ、本當ニ具體的ニ今少シ進シダ御答辯ヲ
願ヒタイ、或ハ區裁判所ニ繫留スル事件
ヲ、相當ナ事件ナラバ必ズ地方裁判所ニ繫
屬セシメント云フヤウナ方法ガ、司法行政
ノ上カラ見テ若シ有リ得ルナラバ、必ズ其
ノ點ハドウ云フ工合ニスルトカ云フヤウ
ナ、具體的方法ノコトニ付テ、モウ一步進
ンデ、例ヘバ區裁判所ノ事件ヲ處理スルニ
シテモ、直グ公判ヲヤラナイデ、十日ナラ
十日、二十日ナラ二十日、此ノ期間ヲ必ズ
命令ニ依ツテ檢事ナリト何カ方法ヲ取ルト
カ、今言フヤウナ相當ナ事件ハ必ズ地方裁
判所ニ移ストカ、其ノ點ハ十分ニ處理シテ
皆サンノ心配ノナイヤウニスルトカ云フヤ
ウナ點ヲ一ツ御相談下サツテ、明後日ノ譬
頭ニ於テ皆サンガ満足スルダケノ答辯ヲ得
タナラバ、私ハ非常ニ此ノ議事進行が圓滑
ニ行クモノダト考ヘル點ガアルノデアリマ
ス、此ノ點ニ付テ一ツ是ハ速記ニ留メテ、
何處マデモ司法省トシテ責任ヲ持ツテ戴ク
ヤウナ意味合カラ、ソコヲモウ少シ具體的
ニ御答辯ヲ願フコトガ必要デナイカト考ヘ
マス

ナラ、凡ニユル證據ヲ出ス機會ヲ與へ、凡ニユル方法デ決シテ人權蹂躪ノ如キ強制的ニ調ベルコトハナイト云フ何等カノ保障ガナケレバ、是ハ全ク改惡ダト云フ考ヘハドウシテモ持ツノデハナイカト思フ、此ノ點ヲ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔速記中止〕

○野村委員長 先程原惣兵衛君カラノ議事進行ノ發言モヤハリ重大問題ト思ヒマスカラ、要スルニ政府ニ於カレマシテハ、司法行政ノ活用ニ依ツテ人民ニモ満足ヲ與ヘ、司法當局ノ思フ所ノ意思モ徹底スルヤウニ、茲ニ考案ガアツタナラバ最モ宜イト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對シテハドウカ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ具體的ノ意見ガアリマシタラ、ソレハ此ノ次ノ時ニ承リタイ

〔速記中止〕

○野村委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマシテ、明後日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後五時一分散會

貢トス

昭和十七年一月十三日印刷

昭和十七年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局